

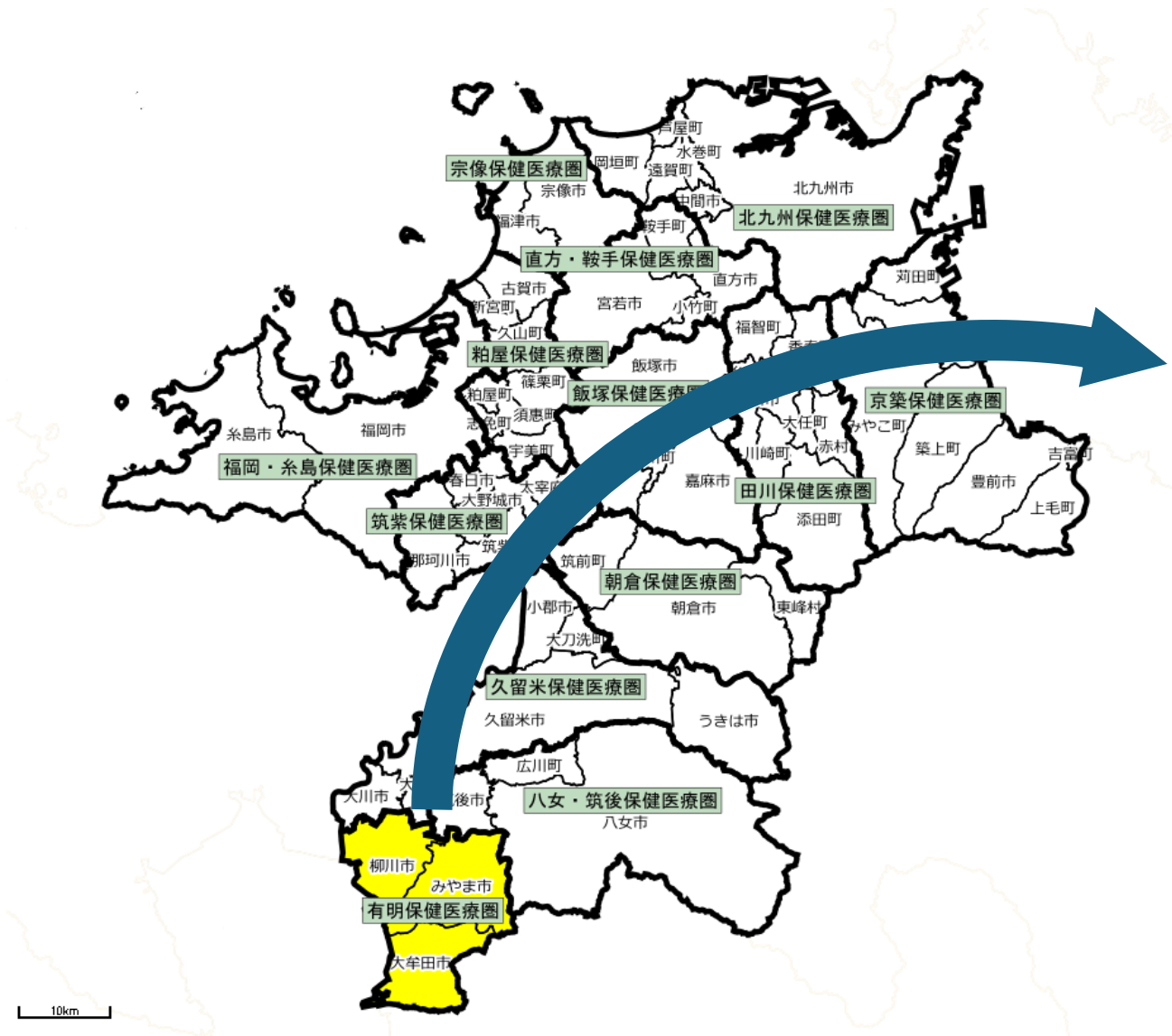
地区診断

—有明区域—

目次

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	27
12	医療介護資源の状況	33
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	35
14	在宅医療の状況	40
15	看護職員の状況	45
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	47
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	48
18	人口メッシュ（500m）	49
19	救急搬送の状況	50
20	救急医療電話相談利用件数	55
21	MDC別割合	56

1. 概要



構成市町村:3市
(大牟田市、柳川市、みやま市)

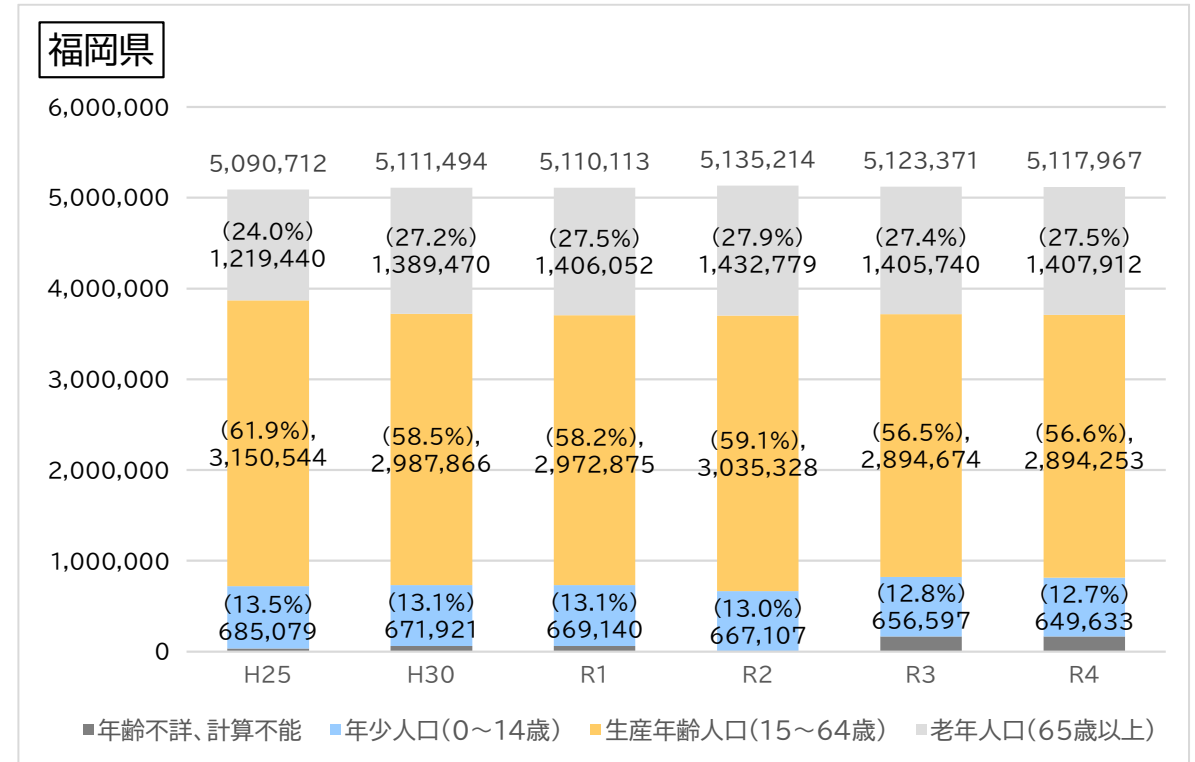
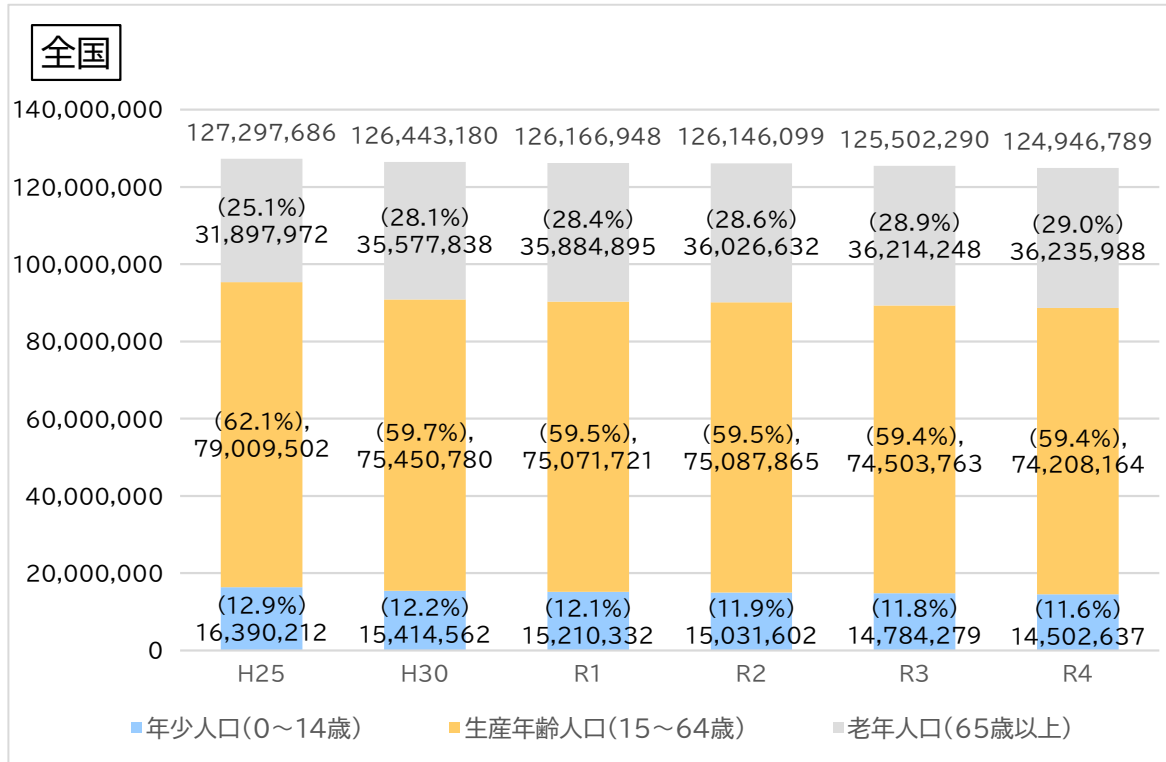
面積:263.81km²

人口:211,617人(令和2年国勢調査)
〔うち年少人口(0~14):23,818人(11.3%)〕
〔うち生産年齢人口(15~64):109,251人(51.6%)〕
〔うち老年人口(65~):76,619人(36.2%)〕

出生数:1,076人(令和4年福岡県保健統計年報)
(人口千対:5.3)※ 県平均7.1

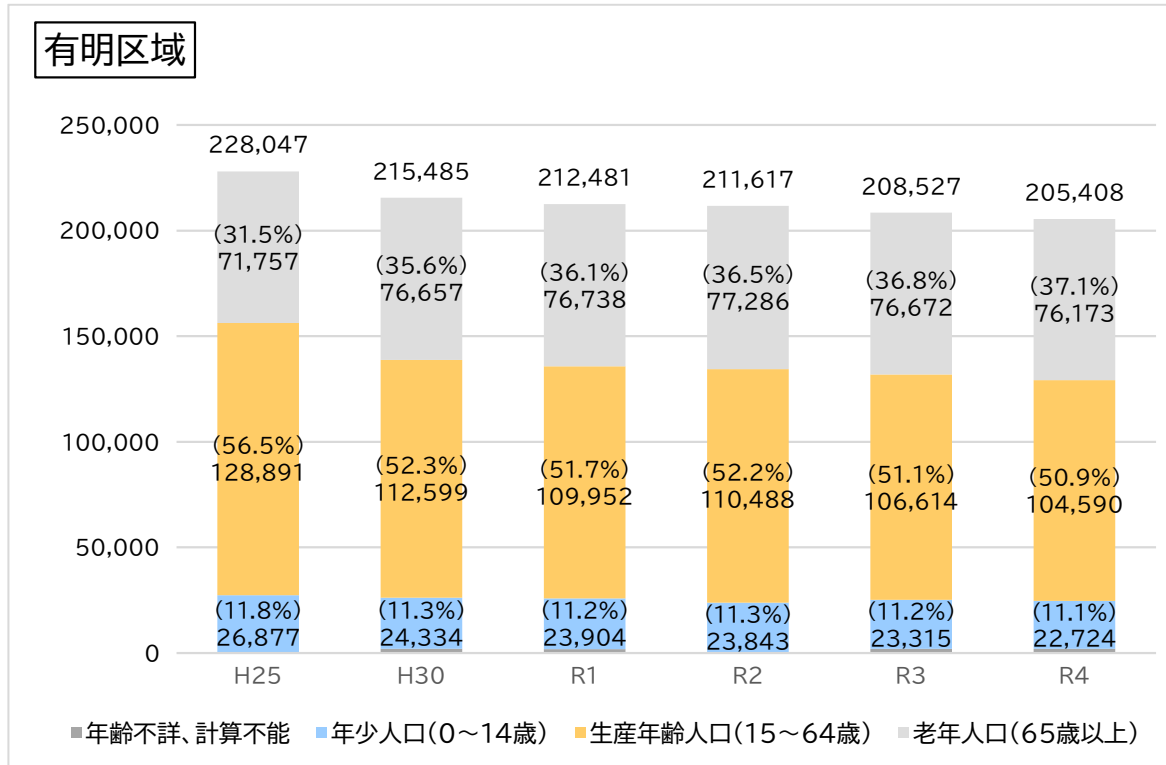
死亡数:3,686人(令和4年福岡県保健統計年報)
(人口千対:18.0)※ 県平均12.2

2. 人口の状況（「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」）



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

2. 人口の状況（「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」）



- ・総人口については、減少傾向
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・特に、老年人口の割合は、40%近くに達しており、H25年度からR4年度までで、5.6ポイント増加している
- ・R4年度の各市の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合はいずれの市も30%を超えており、みやま市で39.6%となっている

2. 人口の状況（「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」）

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
大牟田市	13,576 (11.4%)	66,296 (55.5%)	39,131 (32.7%)	119,548	12,326 (10.9%)	57,691 (50.9%)	41,413 (36.6%)	113,239	12,123 (10.9%)	56,238 (50.4%)	41,397 (37.1%)	111,562	12,201 (11.0%)	57,252 (51.4%)	41,828 (37.6%)	111,281	11,972 (10.9%)	55,031 (50.2%)	41,239 (37.6%)	109,640	11,640 (10.8%)	53,917 (50.0%)	40,899 (37.9%)	107,851
柳川市	8,818 (12.7%)	40,638 (58.6%)	19,880 (28.7%)	69,320	7,926 (12.1%)	36,034 (55.0%)	21,511 (32.8%)	65,530	7,707 (11.9%)	35,343 (54.6%)	21,598 (33.4%)	64,705	7,648 (11.9%)	35,164 (54.5%)	21,663 (33.6%)	64,475	7,448 (11.7%)	34,044 (53.6%)	21,627 (34.0%)	63,551	7,290 (11.6%)	33,539 (53.4%)	21,504 (34.3%)	62,764
みやま市	4,483 (11.4%)	21,957 (56.0%)	12,746 (32.5%)	39,179	4,082 (11.1%)	18,874 (51.4%)	13,733 (37.4%)	36,716	4,074 (11.2%)	18,371 (50.7%)	13,743 (37.9%)	36,214	3,994 (11.1%)	18,072 (50.4%)	13,795 (38.5%)	35,861	3,895 (11.0%)	17,539 (49.6%)	13,806 (39.1%)	35,336	3,794 (10.9%)	17,134 (49.2%)	13,770 (39.6%)	34,793

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

●昼夜間人口

表1) 昼間人口・夜間人口

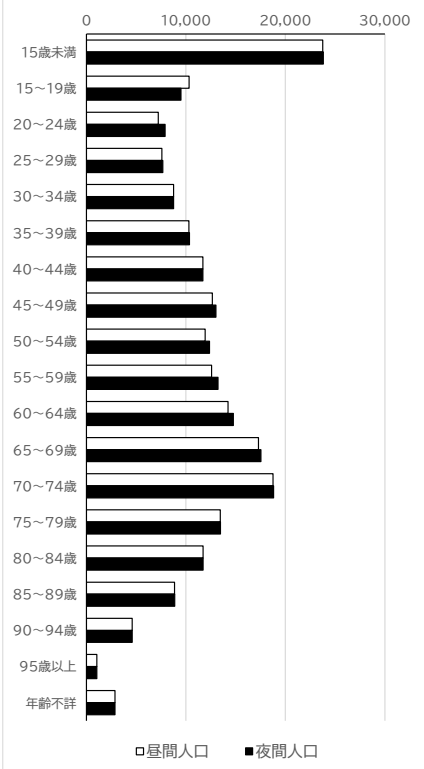


表2) 昼夜間人口比率

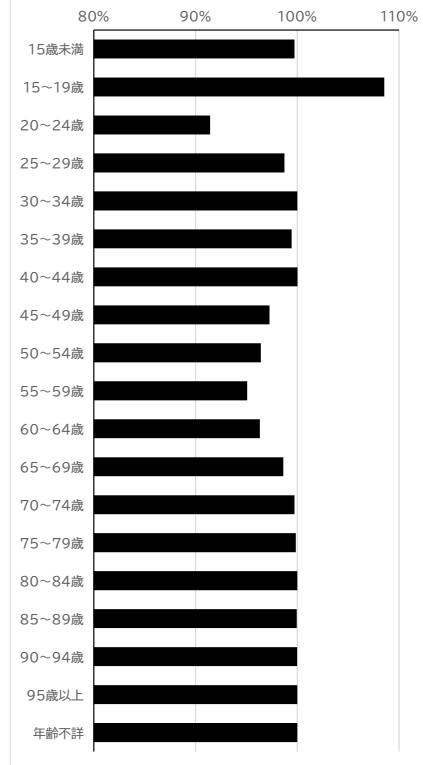


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	209,228	113,002	211,617	113,243	-2,148	-241	97.8%	99.8%
15歳未満	23,753	11,601	23,818	11,633	-33	-32	99.7%	99.7%
15~19歳	10,309	5,169	9,497	4,775	418	394	108.9%	108.3%
20~24歳	7,220	3,706	7,896	4,043	-339	-337	91.2%	91.7%
25~29歳	7,579	3,842	7,676	3,819	-120	23	96.9%	100.6%
30~34歳	8,748	4,412	8,748	4,366	-46	46	99.0%	101.1%
35~39歳	10,304	5,183	10,361	5,139	-101	44	98.1%	100.9%
40~44歳	11,699	6,005	11,696	5,973	-29	32	99.5%	100.5%
45~49歳	12,662	6,541	13,017	6,602	-294	-61	95.4%	99.1%
50~54歳	11,924	6,301	12,367	6,425	-319	-124	94.6%	98.1%
55~59歳	12,574	6,845	13,225	6,964	-532	-119	91.5%	98.3%
60~64歳	14,224	7,504	14,768	7,566	-482	-62	93.3%	99.2%
65~69歳	17,291	9,166	17,531	9,192	-214	-26	97.4%	99.7%
70~74歳	18,761	9,961	18,813	9,968	-45	-7	99.5%	99.9%
75~79歳	13,454	7,692	13,473	7,705	-6	-13	99.9%	99.8%
80~84歳	11,715	7,192	11,714	7,189	-2	3	100.0%	100.0%
85~89歳	8,861	6,089	8,866	6,091	-3	-2	99.9%	100.0%
90~94歳	4,594	3,486	4,595	3,486	-1	0	99.9%	100.0%
95歳以上	1,035	269	1,035	269	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	2,866	949	2,866	949	0	0	100.0%	100.0%

・昼夜間人口の差が最も大きい年代層は「20-24歳」で、次いで「55-59歳」、「60-64歳」で、この年代で通学、通勤による域外流出が多いものと思料

・それ以外の年代については、昼夜間人口比率が100%近くとなっている

・就業の年代(25-64)で見ると、男女ともに45歳以上の年代層で夜間人口が多い状況となっており、中高年層で域外に流出しているものと思料

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	41,889	42,202	32,815	33,497	9,073	8,704	1	1
	従業も通学もしていない	30,952	50,923					30,952	50,923
	不詳	10,843	10,193	1,590	1,186	1,141	1,138	8,112	7,869
	計	83,684	103,318	34,405	34,683	10,214	9,842	39,065	58,793
流出	他地域に従業・通学	14,690	9,925	13,317	8,361	1,373	1,564	0	0
流入	他地域から従業・通学	12,542	9,684	10,898	8,017	1,644	1,667	0	0

主な流出先

【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 久留米市	3,554	16.39%	1 福岡県 久留米市	545	18.56%
2 福岡県 筑後市	2,573	11.87%	2 福岡県 福岡市博多区	305	10.38%
3 福岡県 大川市	2,532	11.68%	3 福岡県 八女市	236	8.04%
4 熊本県 荒尾市	2,472	11.40%	4 福岡県 筑後市	233	7.93%
5 福岡県 八女市	1,433	6.61%	5 福岡県 福岡市城南区	210	7.15%

主な流入元

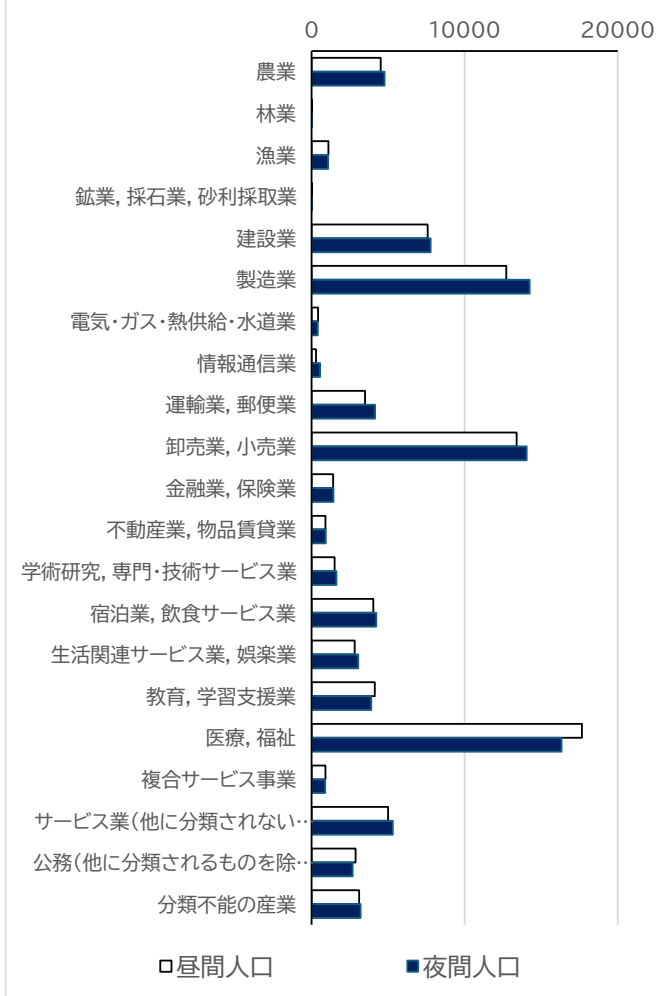
【就業】

市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 熊本県 荒尾市	5,675	30.00%	1 熊本県 荒尾市	622	18.79%
2 福岡県 久留米市	2,367	12.51%	2 福岡県 久留米市	561	16.94%
3 福岡県 大川市	1,892	10.00%	3 福岡県 大川市	371	11.21%
4 福岡県 筑後市	1,849	9.78%	4 福岡県 筑後市	304	9.18%
5 熊本県 玉名市	868	4.59%	5 福岡県 大木町	195	5.89%

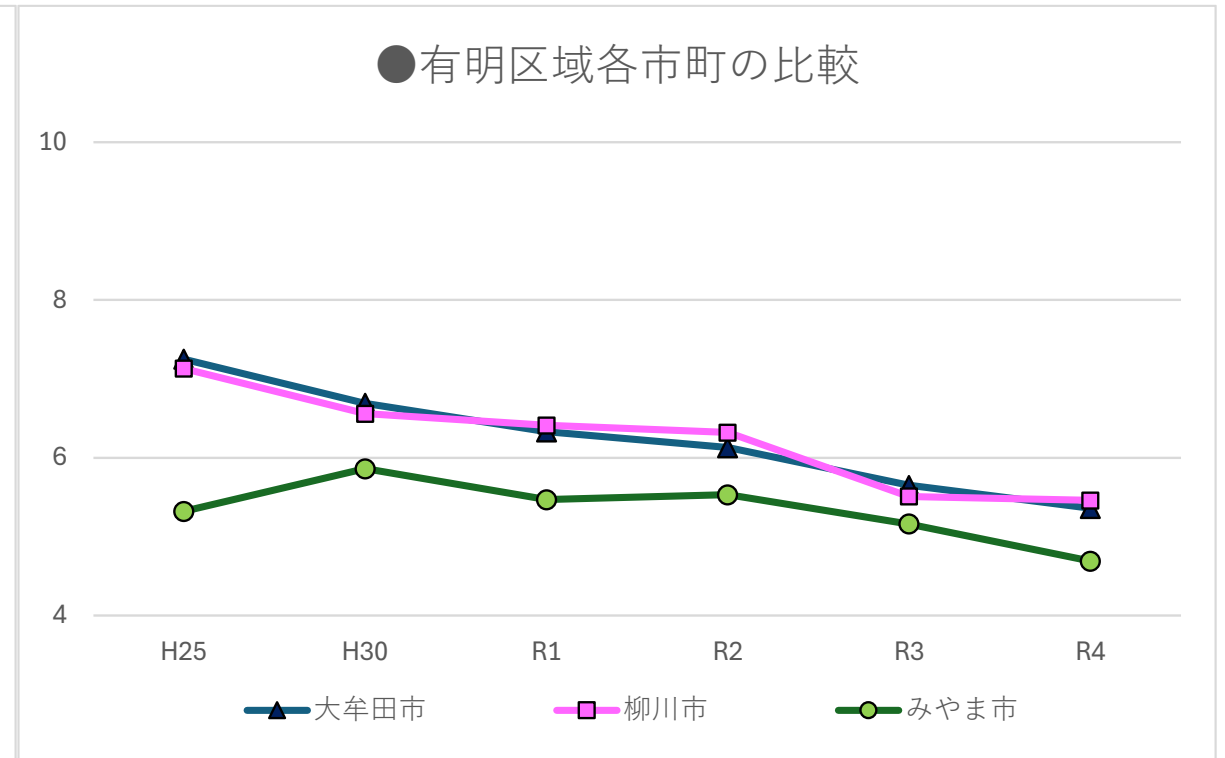
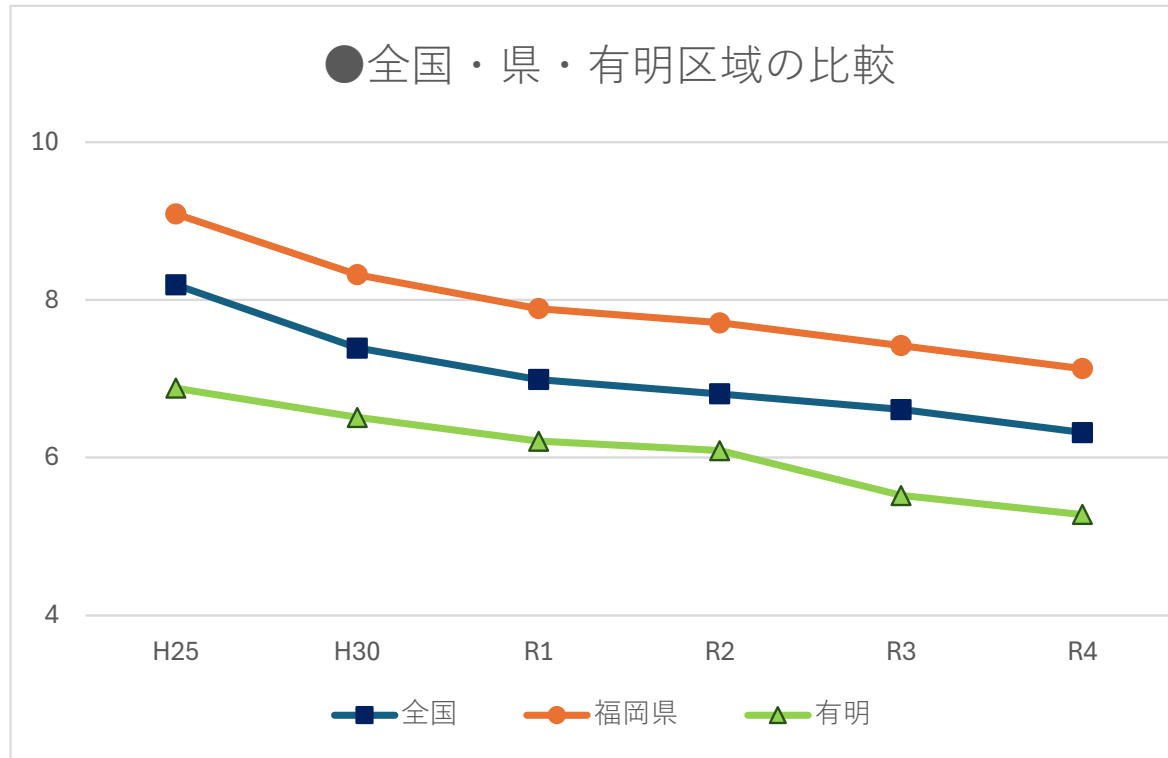
・就業者は、男女とも流出が多い
 ・通学者は、男女ともに流入が多い

産業別に昼間人口を見ると、医療・福祉製が最も多く、次いで卸売業・小売業、製造業となっている
 医療・福祉は、夜間人口よりも昼間人口が多いなど、地区内の医療・福祉に他地区から流入している状況がみられる

表5) 昼間人口・夜間人口

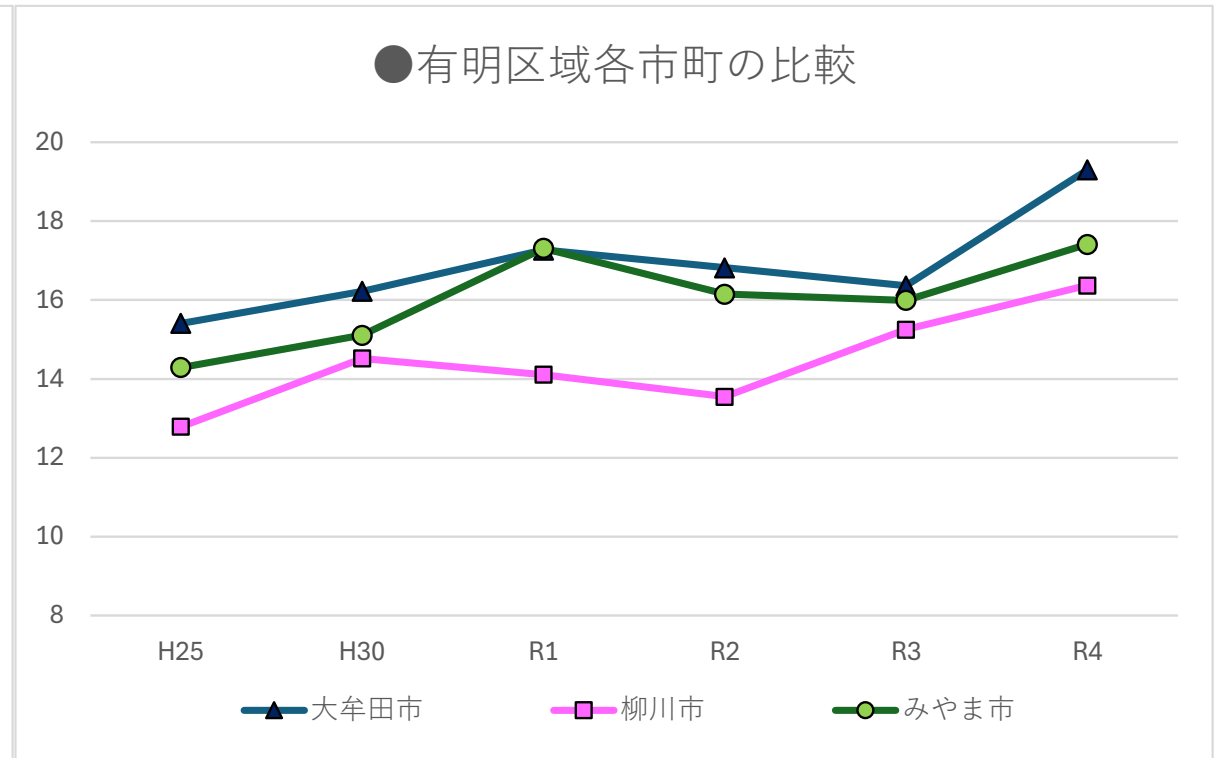
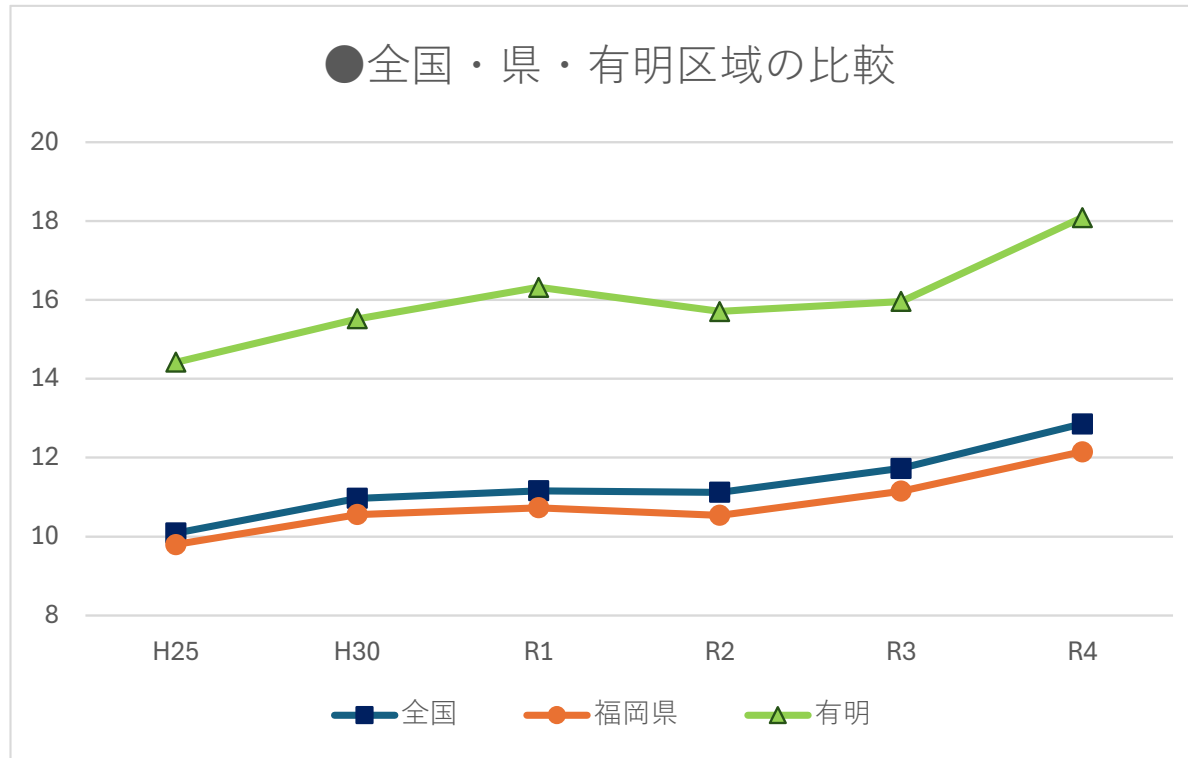


3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



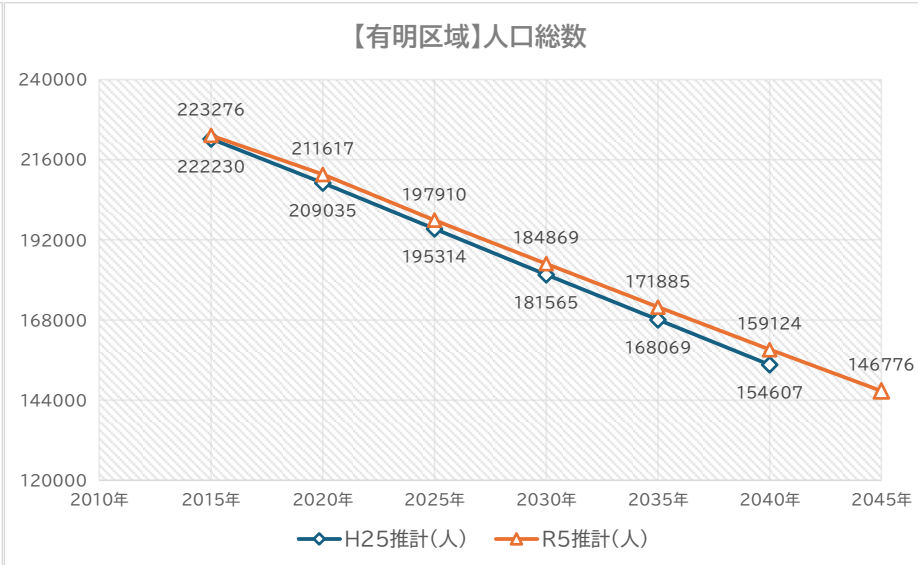
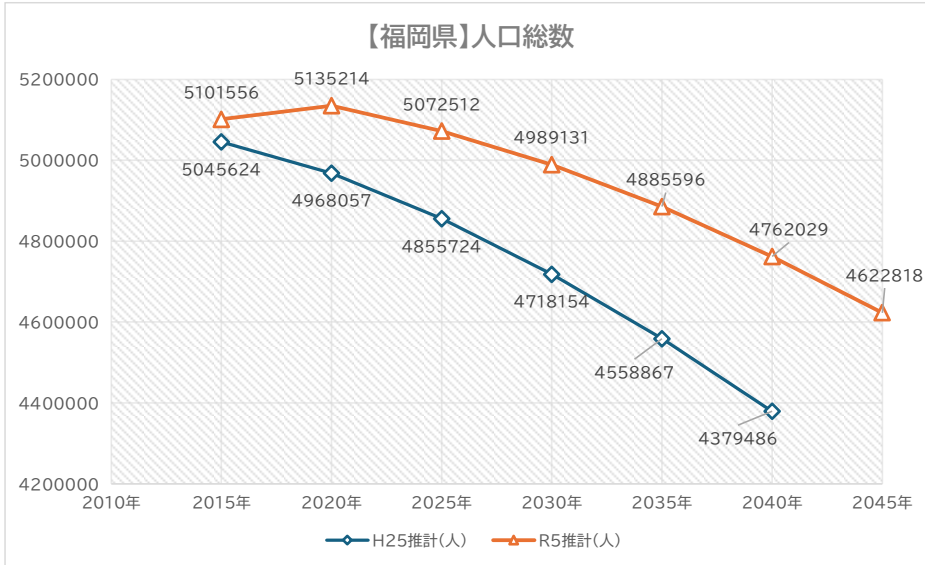
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、有明区域ともに低下傾向となっている
- ・市別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている
- ・R4年度で県平均(7.1%)よりも高い市はなく、最も出生率が低いのはみやま市の4.7%である

4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、有明区域ともに上昇傾向となっている
- ・有明区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して高いため、死亡率も高くなっているものと思料
- ・市別を見ると、概ね上昇傾向にあるが、大牟田市はR3年からR4年で急激に上昇している
- ・いずれの市もR4の県平均(12.2‰)よりも死亡率が高く、最も死亡率が高い市は、大牟田市の19.3‰である

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



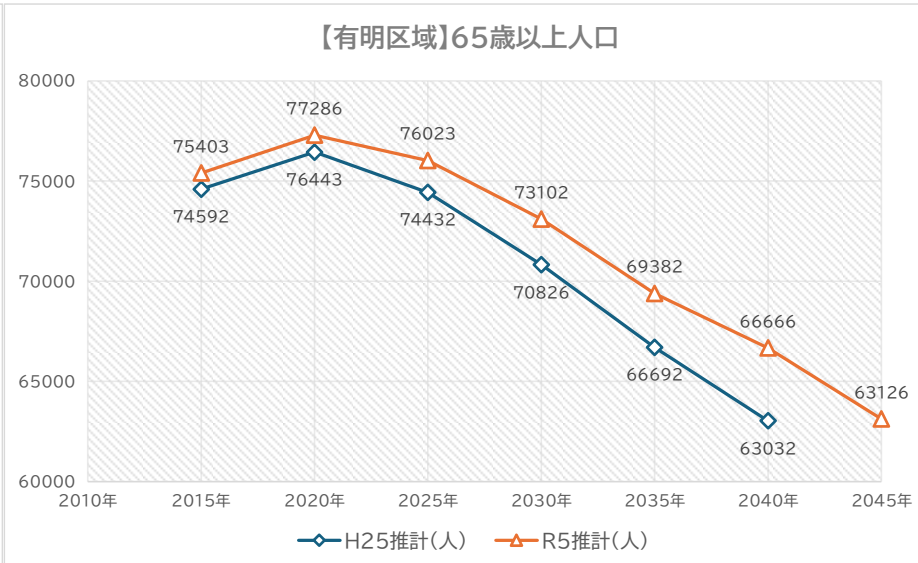
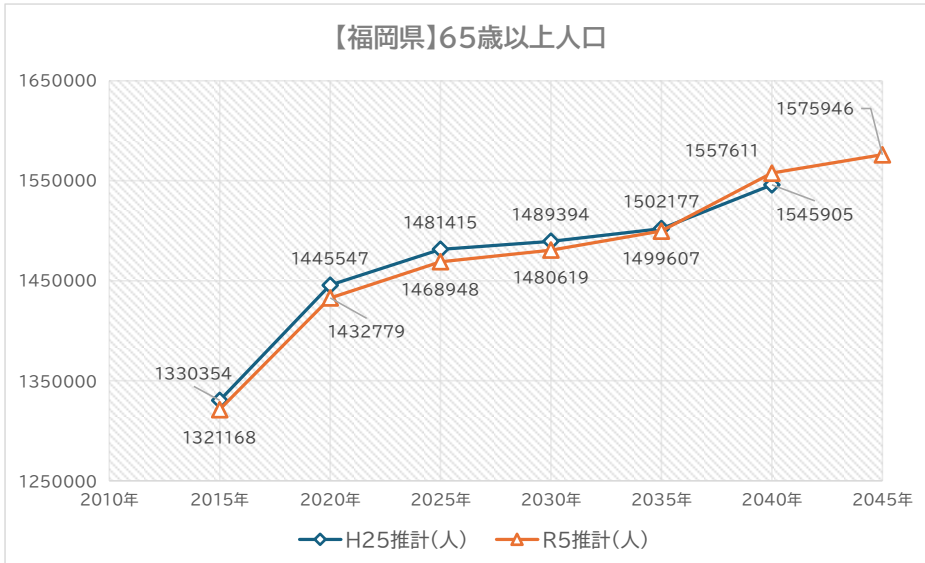
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

【有明区域】

当初推計と同様の傾向で推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

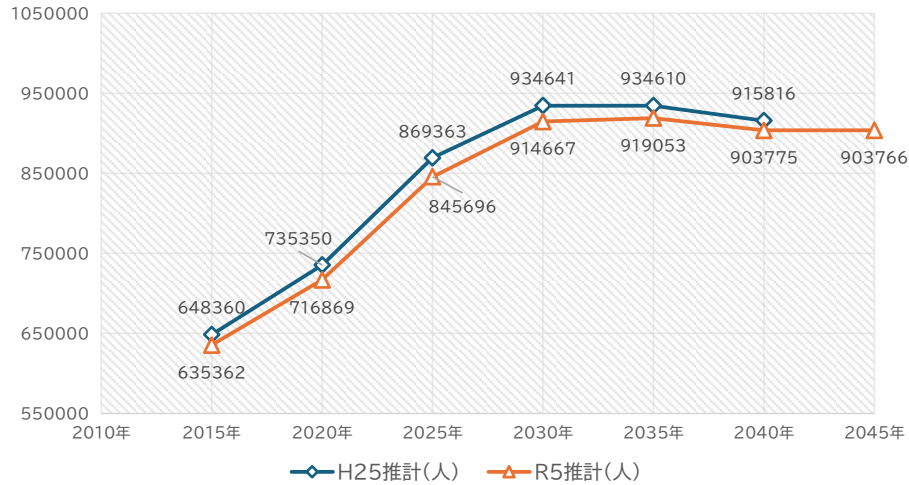
当初の推計と同様の傾向で推移する

【有明区域】

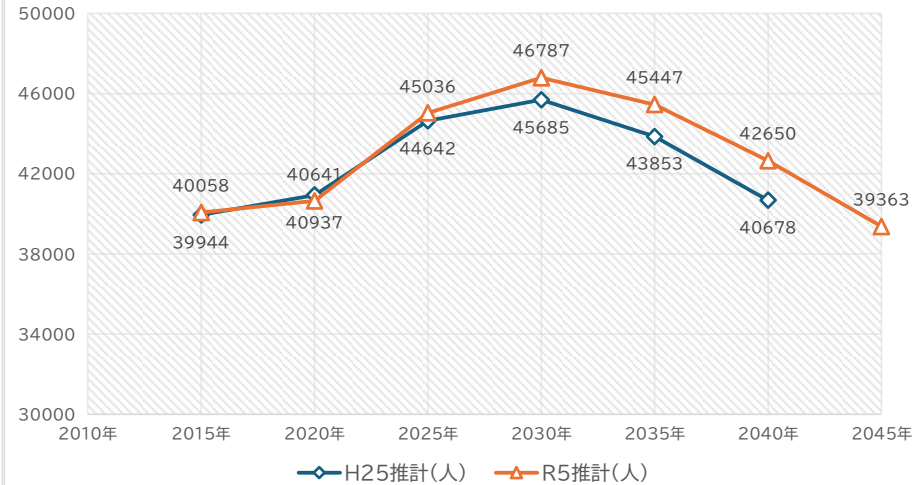
当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【福岡県】75歳以上人口



【有明区域】75歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

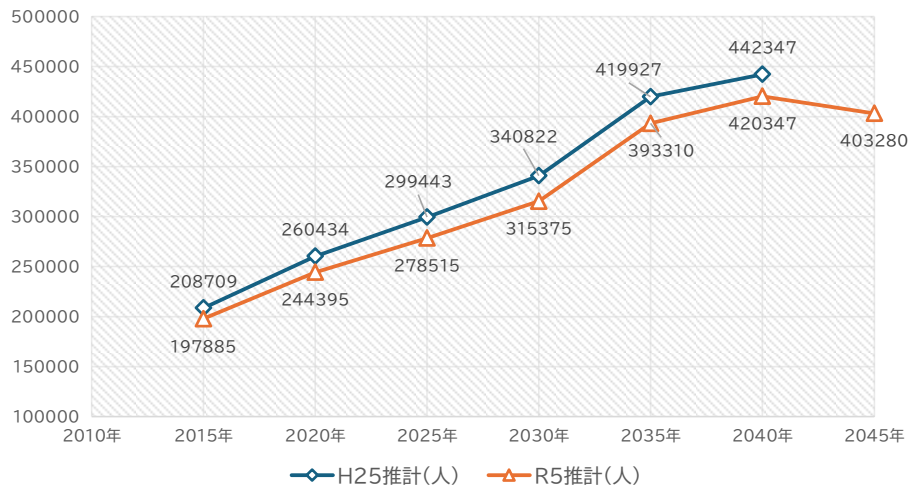
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

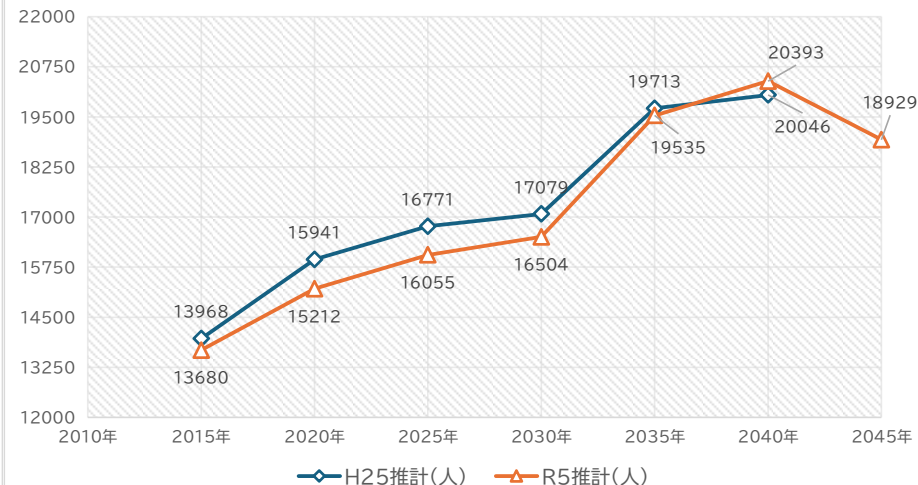
【有明区域】

当初推計と同様の傾向で推移する見込み

【福岡県】85歳以上人口



【有明区域】85歳以上人口



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

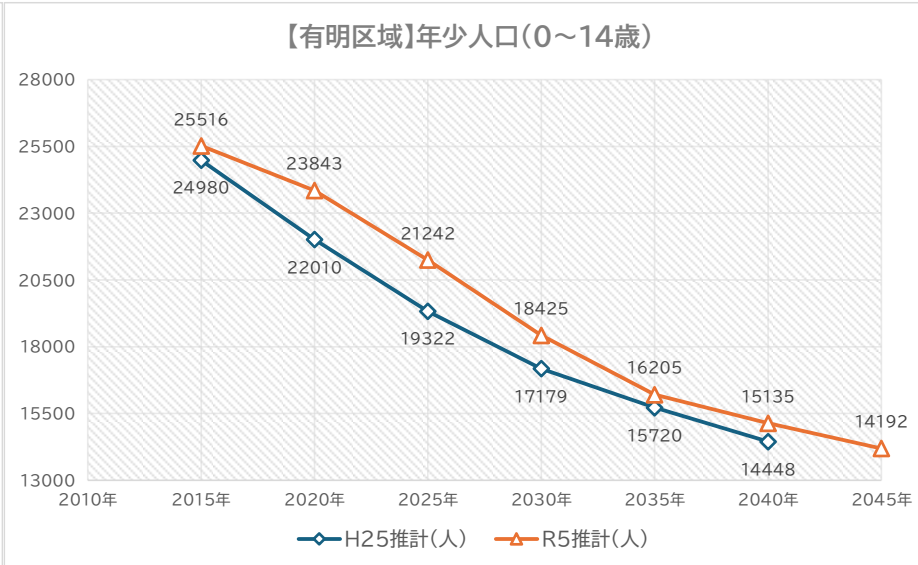
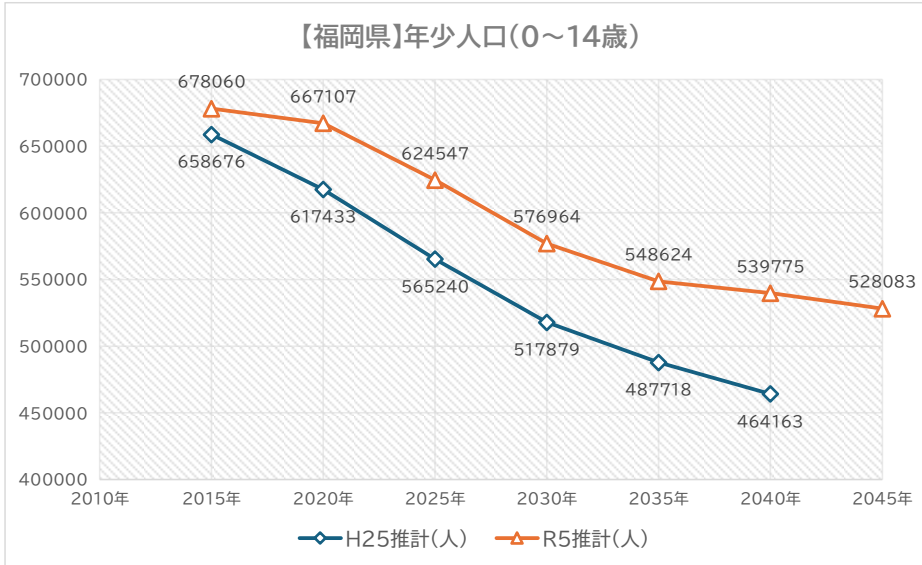
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

【有明区域】

当初推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

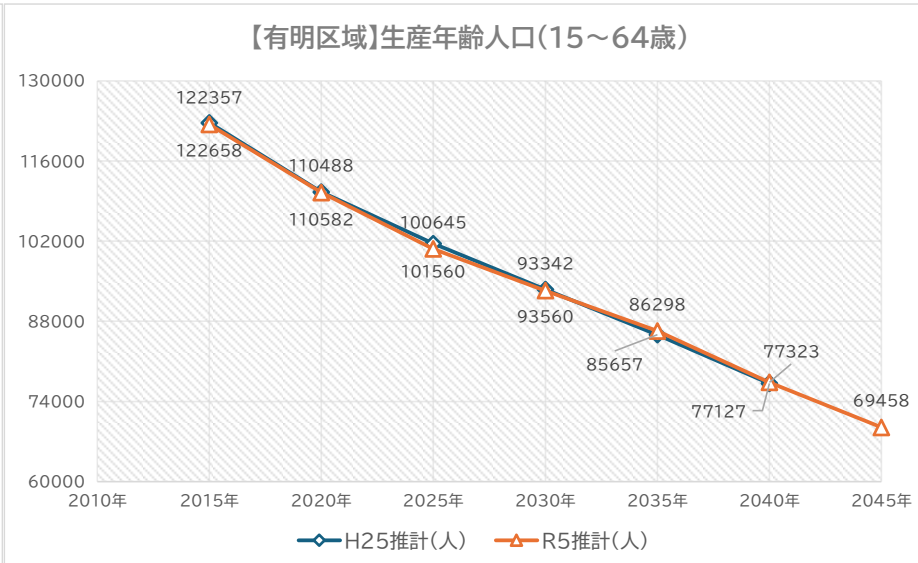
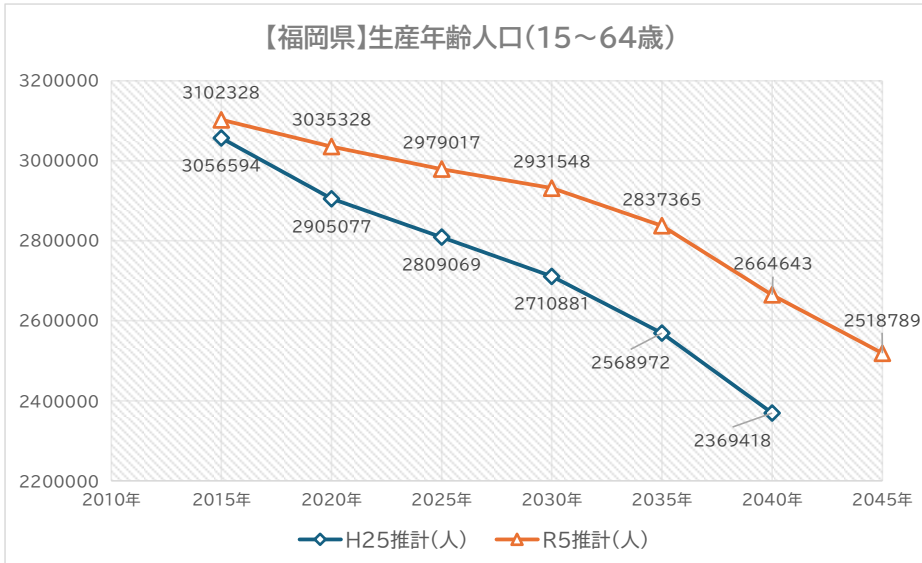
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

【有明区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが人数そのものは若干増加する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

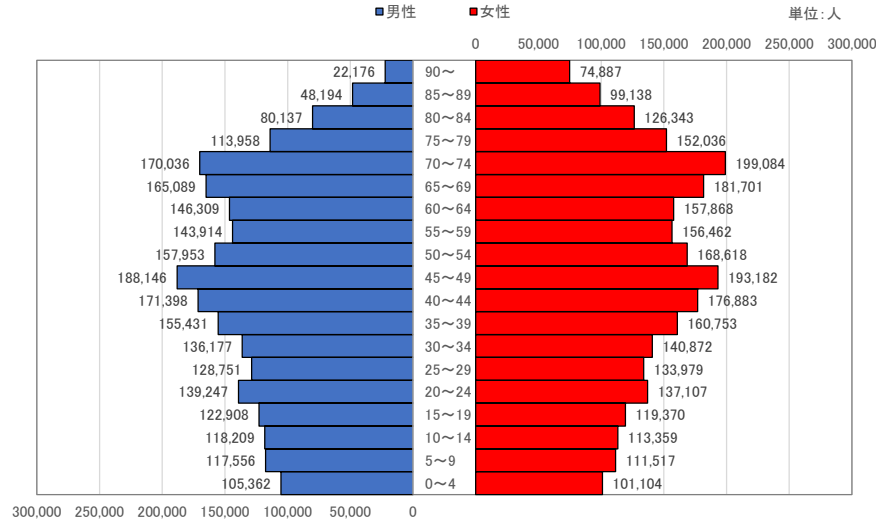
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【有明区域】

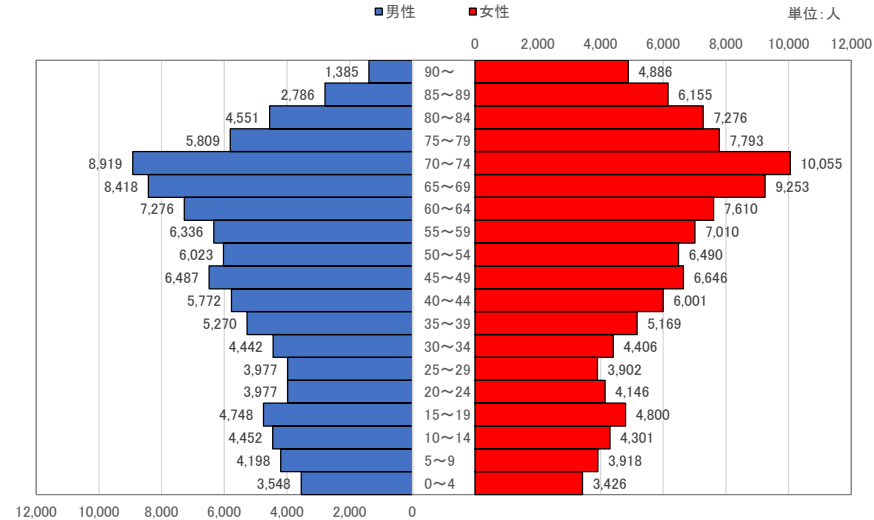
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(有明)2020年】



2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

【有明区域】

福岡県全体と比較して65歳以上の老年人口のボリュームが大きく、一定の規模を維持している

2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

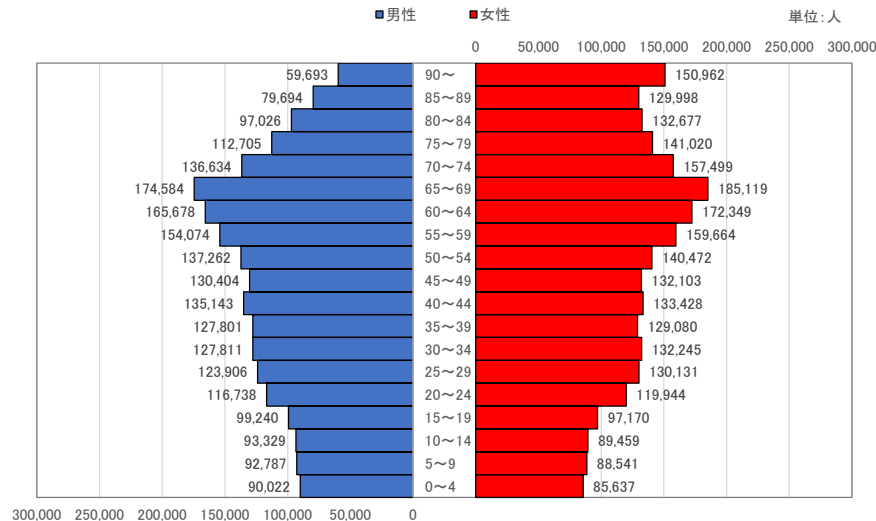
【福岡県全体】

ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

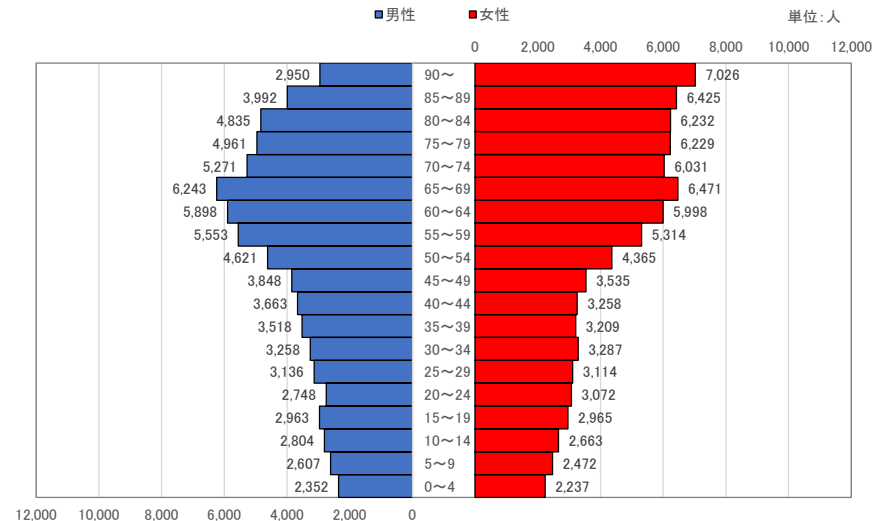
【有明区域】

65歳以上の老年人口が一定の規模を維持しつつ推移しているため、2020年時点に比べて少子高齢化がさらに進み、より底が狭まったつぼ型となっている。男性は全年代での人口減少が顕著で、つぼ型というよりも縦に細長い形状となっている

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(有明)2040年】



6. 市別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
大牟田市	111,281	104,141	97,436	90,805	84,390	78,222	72,520	34.8%
柳川市	64,475	60,359	56,545	52,655	48,763	44,984	41,396	35.8%
みやま市	35,861	33,410	30,888	28,425	25,971	23,570	21,323	40.5%
有明計	211,617	197,910	184,869	171,885	159,124	146,776	135,239	36.1%

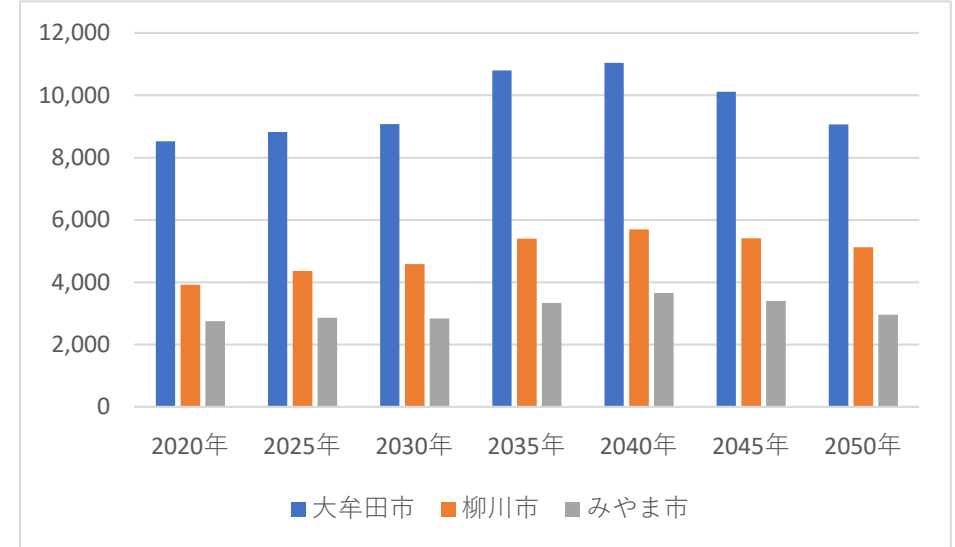
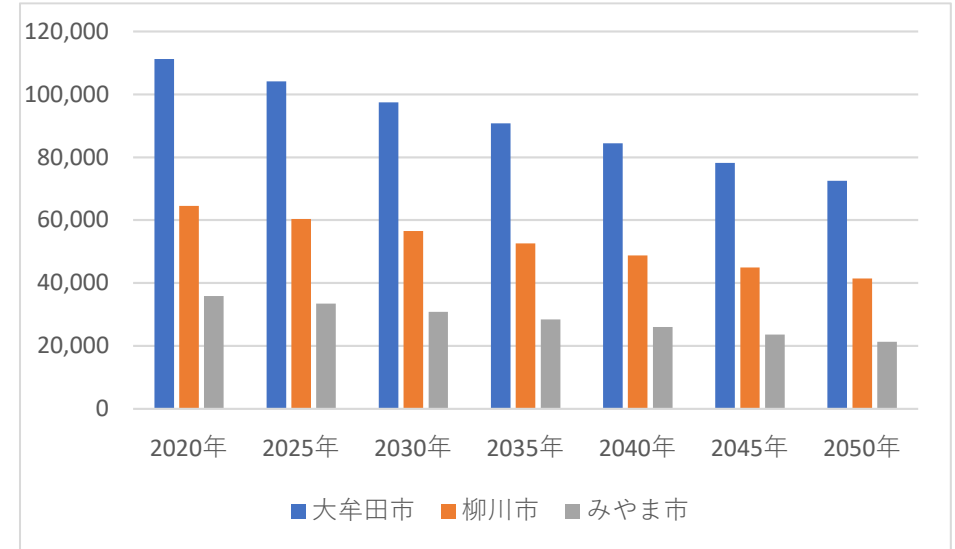
・いずれの市も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で36.1%

・減少率を市別で見ると、みやま市が40.5%で最も高く、大牟田市、柳川市は概ね同程度である

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
大牟田市	8,530	8,827	9,075	10,798	11,040	10,109	9,062	29.4%
柳川市	3,926	4,362	4,586	5,401	5,696	5,412	5,125	45.1%
みやま市	2,756	2,866	2,843	3,336	3,657	3,408	2,960	32.7%
有明計	15,212	16,055	16,504	19,535	20,393	18,929	17,147	34.1%

・いずれの市も2040年にピークを迎え、その後減少していく

・増加率(2020→2040)を市別で見ると、柳川市で有明区域全体の増加率(34.1%)を上回っており、40%を超えている。大牟田市、みやま市は30%前後である



6. 市別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15～64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
大牟田市	57,252	52,502	49,177	45,945	41,496	37,628	34,148	40.4%
柳川市	35,164	31,912	29,401	26,815	23,839	21,299	19,083	45.7%
みやま市	18,072	16,231	14,764	13,538	11,988	10,531	9,326	48.4%
有明計	110,488	100,645	93,342	86,298	77,323	69,458	62,557	43.4%

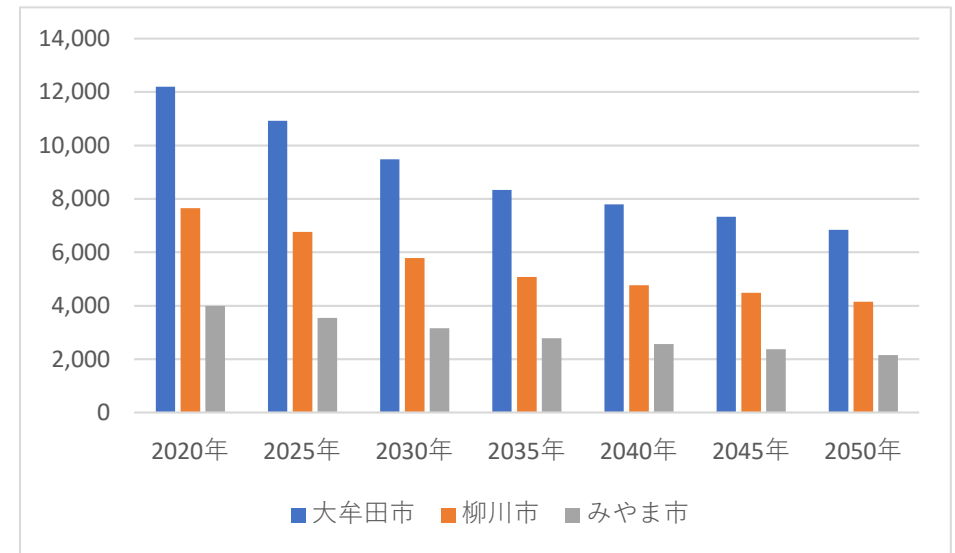
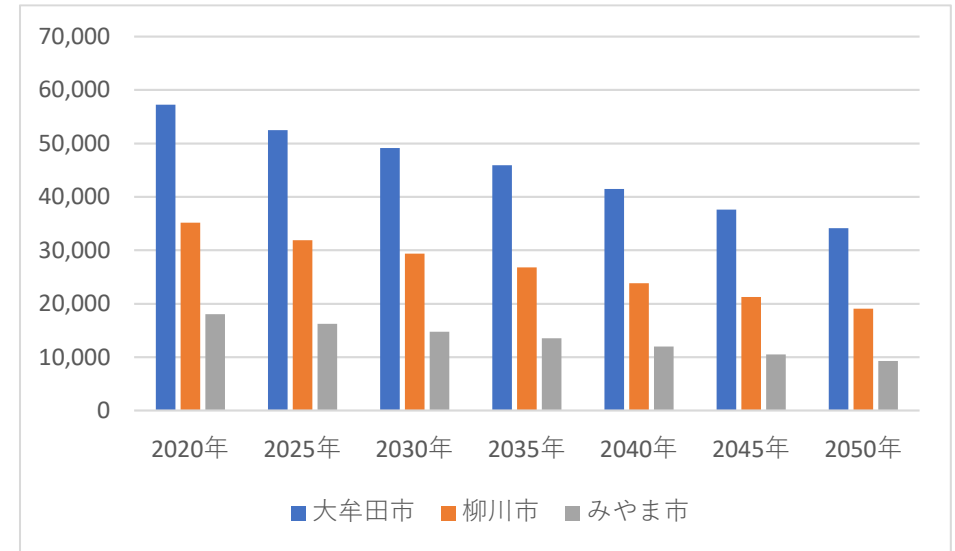
・いずれの市も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市別で見ると、みやま市が最も高く、次いで柳川市、大牟田市となっている

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
大牟田市	12,201	10,928	9,481	8,332	7,794	7,335	6,845	43.9%
柳川市	7,648	6,771	5,784	5,080	4,768	4,488	4,151	45.7%
みやま市	3,994	3,543	3,160	2,793	2,573	2,369	2,152	46.1%
有明計	23,843	21,242	18,425	16,205	15,135	14,192	13,148	44.9%

・いずれの市も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市別で見ると、みやま市、柳川市が概ね同程度で、大牟田市は若干低い



7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(有明地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	58.2%	66.7%	60.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	54.5%	33.3%	63.6%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	20.7%	15.9%	9.7%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	37.3%	25.0%	25.8%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	70.0%	30.0%	40.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	100.0%	75.0%	66.7%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	50.0%	40.0%	46.2%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	100.0%	62.5%	75.0%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	54.5%	54.5%	62.5%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	49.3%	48.2%	47.8%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	31.9%	45.2%	37.9%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	21.4%	27.3%	9.1%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	12.5%	0.0%	0.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[有明]入院:235(39.0%)、外来:167(36.5%)、入院+外来140(34.9%)

・A~Nの分野ごとに見ると、有明区域では「投薬」「リハビリテーション」が全て100以上で、「画像」の割合も高い

7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(有明地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	38.2%	33.3%	20.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	36.4%	58.3%	27.3%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	65.5%	81.8%	87.1%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	57.3%	63.3%	63.3%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	30.0%	60.0%	50.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	0.0%	0.0%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	42.9%	53.3%	38.5%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	0.0%	37.5%	25.0%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	45.5%	36.4%	25.0%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	47.8%	45.8%	40.6%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	61.6%	49.2%	47.6%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	78.6%	72.7%	72.7%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	100.0%	100.0%	100.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	62.5%	85.7%	85.7%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[有明]入院:333(55.2%)、外来:257(56.2%)、入院+外来:214(53.4%)

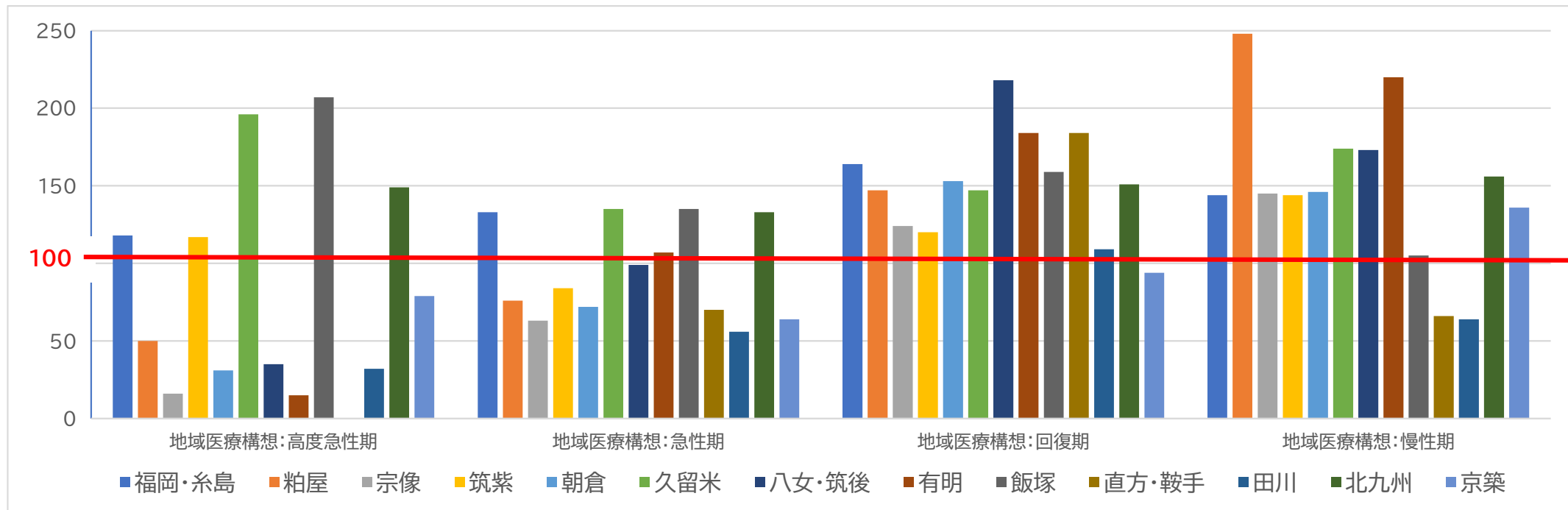
・有明区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向があり、「放射線治療」は全て90を下回っている

7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

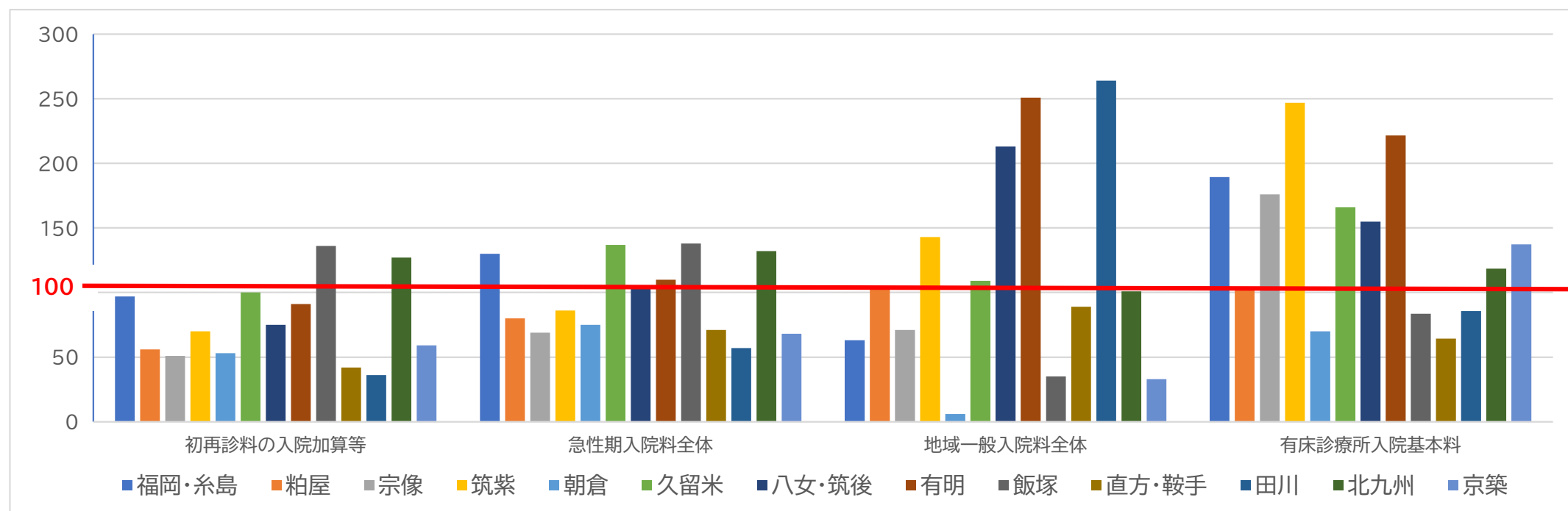
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136



7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

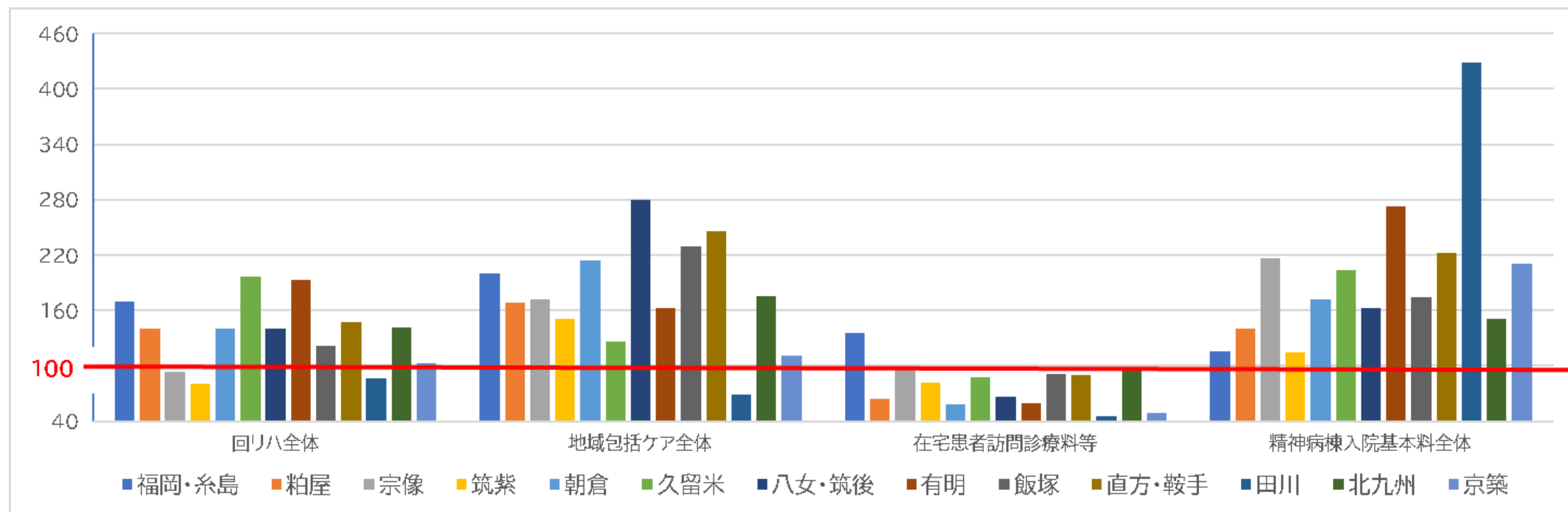
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137



7. SCRの状況（各圏域ごとの比較③）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計（東北大学藤森教授）
 （独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの）

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211

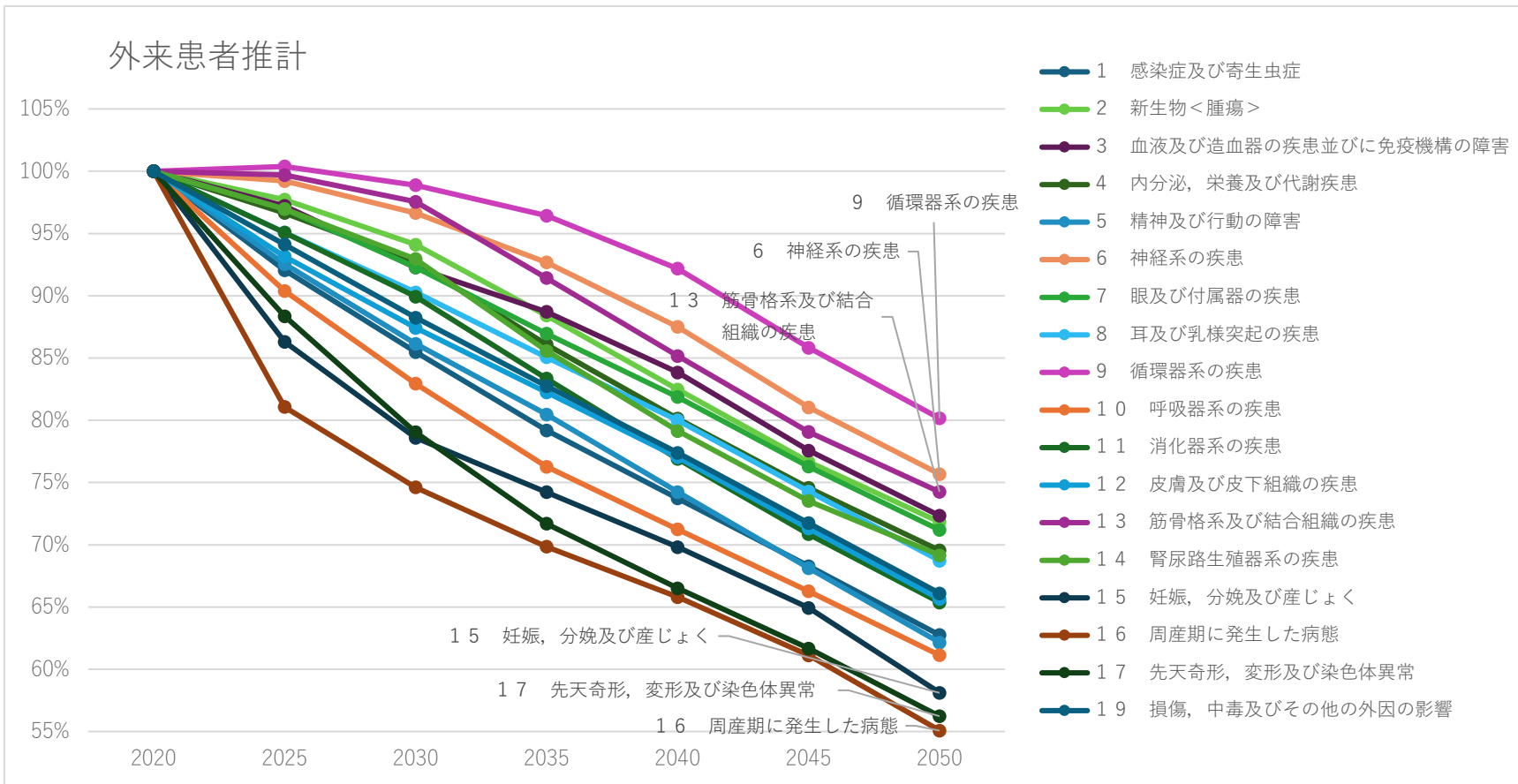


8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

有明区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

【外来患者推計】

循環器系は2025年にピークを迎え、以降は減少傾向が続く その他の疾患はいずれも2050年頃まで減少傾向が続く見込み



外来患者数は、いずれの疾患も2050年時点で100%を下回っており、今後も外来患者は減り続けるものと思料

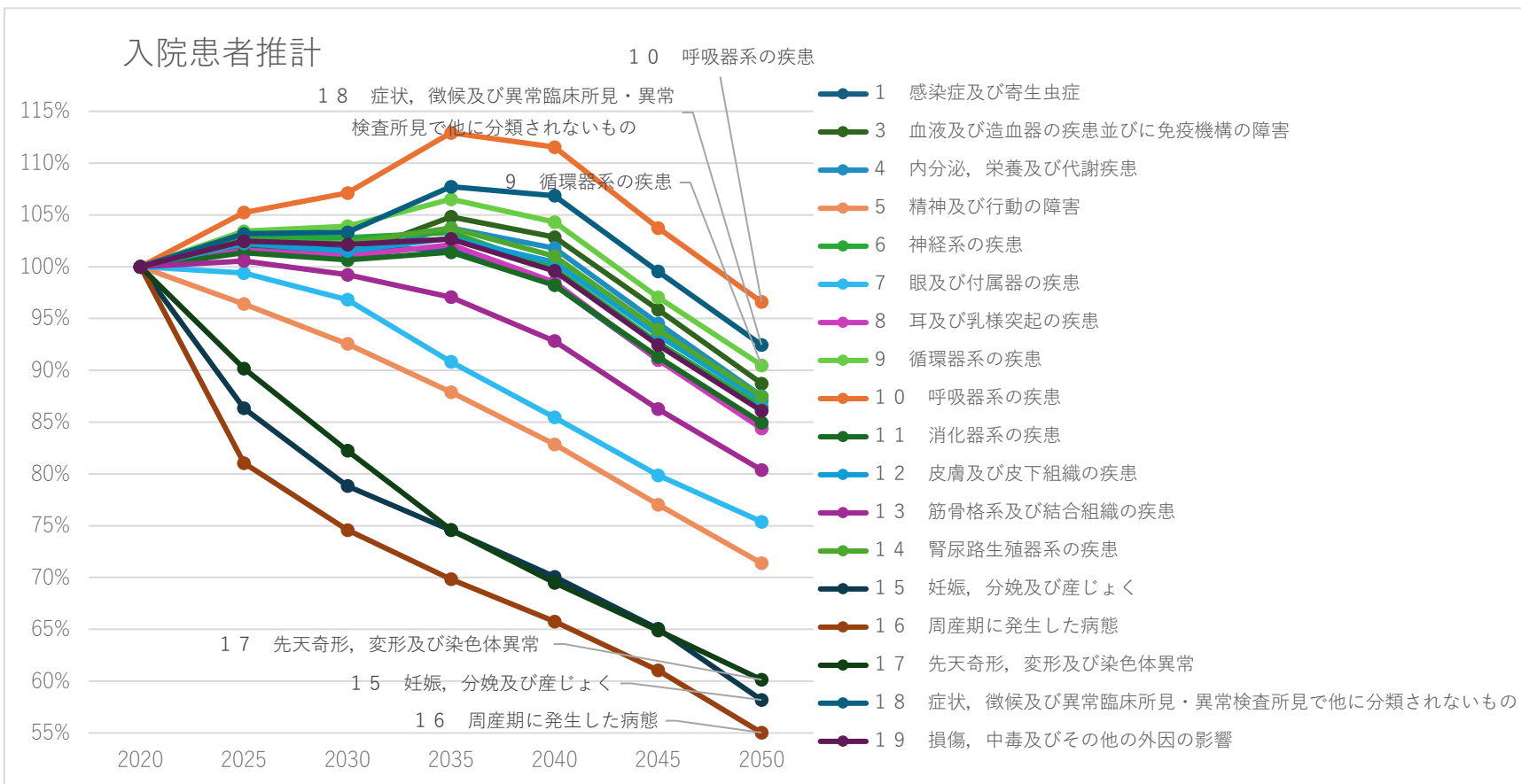
・減少率大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
(対応する診療科)
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常の疾患〕
(対応する診療科)
→小児科、小児外科
- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列5〔精神及び行動の障害〕
(対応する診療科)
→精神科、心療内科
- 系列1〔感染症及び寄生虫症〕
(対応する診療科)
→感染症内科
- 系列11〔消化器系の疾患〕
(対応する診療科)
→消化器内科(胃腸内科)、消化器外科(胃腸外科)

8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

【入院患者推計】

呼吸器、循環器、腎尿路、内分泌、血液、皮膚科は2035年をピークに増加が続き、以降、2050年まで減少していく見込み
 周産期、妊娠・分娩、小児科系、精神、眼及び付属器の疾患は、2020年以降減少していく見込み



2020年を基準とした入院患者数は、全ての疾病で2050年時点で100%を下回っており、今後も入院患者は減り続けるものと思料

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常の疾患〕
(対応する診療科)
→小児科、小児外科系
- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列5〔精神及び行動の障害〕
(対応する診療科)
→精神科、心療内科
- 系列2〔新生物<腫瘍>〕
(対応する診療科)
→外科、乳腺外科

9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
大牟田市		405	375.5
	病院	271	251.3
	診療	134	124.2
柳川市		118	188.0
	病院	58	92.4
	診療	60	95.6
みやま市		58	166.7
	病院	24	69.0
	診療	34	97.7
有明 計		581	282.9
	病院	353	171.9
	診療	228	111.0
福岡県 計		15,968	312.0
	病院	11,025	215.4
	診療	4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	久留米	407.8	1/13	4/330
	八女・筑後	216.3	8/13	118/330
	有明	233.6	5/13	90/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	久留米	170.3	1/13	13/303
	八女・筑後	89.0	9/13	217/303
	有明	124.3	4/13	86/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数で100を切っている市はない
- ・医師偏在指標を見ると、有明区域は、医師全体が県で5位、全国で90位と若干上位にある
- ・小児科医師については、県で4位、全国で86位と上位にある

9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況」(令和5年9月福岡県医療指導課)

年齢階級	久留米	八女・筑後	有明	福岡県
90 -	0	3	1	23
85 - 89	5	0	1	43
80 - 84	9	2	5	74
75 - 79	32	14	12	208
70 - 74	52	19	31	466
65 - 69	44	21	26	550
60 - 64	34	9	25	544
55 - 59	33	7	18	419
50 - 54	28	8	9	321
45 - 49	29	7	5	243
40 - 44	7	0	4	121
35 - 39	3	1	1	31
30 - 34	0	0	0	9
- 29	0	0	0	1
Total	276	91	138	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、「70-74」がボリュームゾーンとなっており、次いで「65-69」「60-64」となっている
他地区や県全体に比べると50歳以下の年代が少ない状況にある

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

10. 医療従事者数〔医師・診療科〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少
	内科	精神科	外科	整形外科	消化器内科 (胃腸内科)	小児科	呼吸器内科	循環器内科	眼科	皮膚科	脳神経内科
大牟田市	92	37	23	29	25	15	21	19	16	11	12
柳川市	21	5	13	12	11	10	4	3	6	5	4
みやま市	11	5	11	5	6	2	-	3	1	3	-
有明	124	47	47	46	42	27	25	25	23	19	16

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少			減少 減少	減少 減少		
	産婦人科	耳鼻 いんこう科	糖尿病内科 (代謝内科)	脳神経外科	泌尿器科	放射線科	麻酔科	消化器外科 (胃腸外科)	腎臓内科	リハビリテー ション科	臨床研修医
大牟田市	11	11	10	9	7	10	8	7	5	5	7
柳川市	4	3	2	2	3	1	2	1	1	1	-
みやま市	1	1	1	2	1	-	1	-	1	1	-
有明	16	15	13	13	11	11	11	8	7	7	7

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少		減少 減少					
	呼吸器外科	心臓血管 外科	婦人科	救急科	肛門外科	形成外科	病理診断科	全科	その他	不詳	
大牟田市	5	1	2	2	-	1	1	-	2	1	
柳川市	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	
みやま市	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
有明	5	3	3	3	1	1	1	1	2	1	

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の主な意見

- ・小児救急を担う医師が現在も必要であるし、今後は加速度的にその必要性が増えてくると思う

また小児に限らず、夜間・休日での診療を担う医師は必要

- ・死体検案を担う医師が不足している

- ・外来医療に関して充足しているように見えるが、その多くは大牟田市に集中している

もう少し細かい地域で考える必要はあるかと思う

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

11. 医療従事者数〔常勤医師①〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)	※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
大牟田市	福岡県済生会大牟田病院		21.8	78.0%	122.5	0	0	147	49	0	0	61.3%	504	救急告示
		常勤	17		118	0								
		非常勤	4.8		4.5	0								
	米の山病院		31.6	60.0%	181.6	9.8	0	123	96	0	0	101.3%	1,151	救急告示
		常勤	19		174	6								
		非常勤	12.6		7.6	3.8								
	大牟田市立病院		69.5	89.0%	274.7	7.3	73	247	0	0	0	80.9%	1,966	救急告示
		常勤	62		251	0								
		非常勤	7.5		23.7	7.3								
	大牟田中央病院		9.7	62.0%	46.6	15.6	0	0	134	102	0	80.6%	*	救急告示
		常勤	6		45	13								
		非常勤	3.7		1.6	2.6								
	医療法人恒生堂永田整形外科病院		13.3	53.0%	59.1	13	0	124	0	0	0	68.6%	391	救急告示
		常勤	7		56	13								
		非常勤	6.3		3.1	0								
	杉循環器科内科病院		10.8	65.0%	45.6	16.2	0	81	0	0	0	73.8%	436	救急告示
常勤		7	42		10									
非常勤		3.8	3.6		6.2									
社会保険大牟田天領病院		29	100.0%	226.7	10.4	0	214	133	0	0	82.7%	1,641	救急告示	
	常勤	29		220	8									
	非常勤	0		6.7	2.4									
南大牟田病院		6	50.0%	27	24.5	0	0	43	107	0	58.2%	0		
	常勤	3		26	23									
	非常勤	3		1	1.5									
菅原病院		4	75.0%	24	4	0	0	0	60	0	87.2%	0		
	常勤	3		24	4									
	非常勤	1		0	0									
医療法人くさかべ病院		13	8.0%	54	12	0	0	30	90	0	91.2%	0		
	常勤	1		51	10									
	非常勤	12		3	2									

11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
大牟田市	みさき病院		6	50.0%	72	9	0	0	48	96	0	96.7%	0
		常勤	3		71	8							
		非常勤	3		1	1							
	独立行政法人国立病院機構大牟田病院		24	100.0%	263.9	0	0	47	47	286	0	84.0%	*
		常勤	24		260	0							
		非常勤	0		3.9	0							
	医療法人完光会 今野病院		5	60.0%	35.6	7.7	0	20	0	40	0	82.0%	0
		常勤	3		34	5							
		非常勤	2		1.6	2.7							
	医療法人けんこう兼行病院		4.8	83.0%	24	10.6	0	0	32	38	0	85.6%	*
		常勤	4		24	10							
		非常勤	0.8		0	0.6							
	医療法人富松記念会 三池病院		8.6	81.0%	59	26.1	0	0	0	0	23	0.0%	0
		常勤	7		59	26							
		非常勤	1.6		0	0.1							
	医療法人静光園白川病院		10.7	56.0%	39.7	25	0	0	60	120	0	99.4%	*
		常勤	6		38	23							
		非常勤	4.7		1.7	2							
日の出町すぎ病院		3.7	54.0%	11.9	8.2	0	0	0	58	0	71.6%	0	
	常勤	2		10	7								
	非常勤	1.7		1.9	1.2								
医療法人SSC坂口医院		5	100.0%	2	3	0	11	0	0	0	21.5%	0	
	常勤	5		2	3								
	非常勤	0		0	0								
医療法人寿心会 木村内科医院		1.2	83.0%	3.8	3.8	0	0	0	19	0	6.3%	0	
	常勤	1		3	3								
	非常勤	0.2		0.8	0.8								
吉田外科整形外科医院		1.2	83.0%	0	3	0	0	0	0	19	0.4%	0	
	常勤	1		0	3								
	非常勤	0.2		0	0								

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

11. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
大牟田市	医療法人杏東会 東原産婦人科 医院	常勤	1	100.0%	3	3	0	18	0	0	0	6.7%	*
		非常勤	0		0	0							
	医療法人石橋整形外科医院	常勤	1	100.0%	0	6	0	18	0	0	0	58.1%	0
		非常勤	0		0	0							
	医療法人 辻クリニック	常勤	2	100.0%	1.5	2	0	0	15	0	0	0.0%	0
		非常勤	0		0.5	0							
	医療法人東翔会ひがしはら医 院	常勤	1	77.0%	1	1	0	0	0	0	18	0.0%	0
		非常勤	0.3		0	0							
	医療法人向坂眼科医院	常勤	1	100.0%	0	5.7	0	0	6	0	0	0.1%	0
		非常勤	0		0	0.7							
	医療法人山下医院	常勤	1	100.0%	2.3	11	0	0	0	19	0	78.7%	0
		非常勤	0		0.3	3							
	医療法人メディカルキューブ平 井外科産婦人科	常勤	2	100.0%	5	5	0	19	0	0	0	4.1%	*
		非常勤	0		0	0							
	落合脳神経外科医院	常勤	1	77.0%	2	5	0	0	0	0	19	0.0%	*
		非常勤	0.3		0	0							
	重藤内科・外科	常勤	2	100.0%	4	5	0	0	0	19	0	4.2%	0
		非常勤	0		0	1							
医療法人村尾産婦人科クリニッ ク	常勤	3	100.0%	1	9.9	0	19	0	0	0	88.4%	*	
	非常勤	0		0	0.9								

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

11. 医療従事者数〔常勤医師④〕 (令和5年度「病床機能報告」)

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
大牟田市	医療法人 吉田クリニック		2	100.0%	2	11	0	0	16	0	0	3.0%	0
		常勤	2		2	8							
		非常勤	0		0	3							
	藤本整形外科医院		1.1	91.0%	0	0	0	19	0	0	0	0.0%	0
		常勤	1		0	0							
		非常勤	0.1		0	0							
	医療法人飯田クリニック		4	50.0%	5	5	0	4	0	0	0	30.3%	0
		常勤	2		5	5							
非常勤		2	0		0								
河野産婦人科医院		3	67.0%	4	4	0	14	0	0	0	62.6%	*	
	常勤	2		3	4								
	非常勤	1		1	0								
医療法人慶潤会坂本内科医院		2.4	83.0%	4	6	0	19	0	0	0	73.2%	0	
	常勤	2		4	6								
	非常勤	0.4		0	0								
医療法人塩谷眼科医院		1	100.0%	0	3	0	0	0	0	6	0.0%	0	
	常勤	1		0	3								
	非常勤	0		0	0								
(医)睦月会 堀整形外科麻酔科クリニック		1.1	91.0%	2.2	3.6	0	0	19	0	0	47.2%	0	
	常勤	1		1	3								
	非常勤	0.1		1.2	0.6								
長田病院		17	59.0%	86.9	18	0	76	43	63	0	73.9%	584	
	常勤	10		80	14								
	非常勤	7		6.9	4								
一般財団法人医療・介護・教育研究財団柳川病院		22.9	87.0%	107.3	5.8	4	146	0	0	0	80.3%	900	
	常勤	20		103	4								
	非常勤	2.9		4.3	1.8								
柳川リハビリテーション病院		11	100.0%	101.2	6.2	0	60	120	60	0	80.0%	*	
	常勤	11		99	4								
	非常勤	0		2.2	2.2								

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

救急告示

救急告示

11. 医療従事者数〔常勤医師⑤〕 (令和5年度「病床機能報告」)

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
柳川市	医療法人 金子病院	常勤	3.5	29.0%	6.1	8.5	0	0	0	31	0	100.3%	*
		非常勤	1		5	7							
	柳川療育センター	常勤	9.9	71.0%	67.8	3	0	0	0	120	0	80.7%	0
		非常勤	7		67	3							
	医療法人津留医院	常勤	1	100.0%	2.5	6	0	19	0	0	0	117.7%	*
		非常勤	1		2	6							
	医療法人龍眼科	常勤	2.7	74.0%	1.5	6	0	6	0	0	0	16.0%	0
		非常勤	2		0	6							
	医療法人柳川滋恵会 甲斐田医院	常勤	2.5	80.0%	2	12	0	0	19	0	0	94.1%	*
		非常勤	2		2	12							
	江頭整形外科医院	常勤	1	100.0%	1	2	0	19	0	0	0	0.0%	0
		非常勤	1		0	2							
	医療法人 回生会 立花レディースクリニック	常勤	2.3	87.0%	5	7.9	0	16	0	0	0	94.7%	0
		非常勤	2		5	7							
ヨコクラ病院	常勤	27.5	65.0%	107.3	10.8	0	129	40	30	0	94.7%	1,285	
	非常勤	18		104	10								
医療法人 江の浦医院	常勤	2	100.0%	2.5	5	0	14	0	0	0	1.6%	*	
	非常勤	2		2	4								
医療法人前原整形外科・リハビリクリニック	常勤	2	100.0%	5	4	0	0	19	0	0	43.4%	0	
	非常勤	2		5	4								

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

救急告示

11. 医療従事者数〔常勤医師⑥〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
みやま市	医療法人石橋眼科医院		2	100.0%	1.8	2.8	0	9	0	0	0	15.0%	0
		常勤	2		1	2							
		非常勤	0		0.8	0.8							

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「*」表記

12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):443千円(偏差値66)

一人当たり介護給付費:271千円(偏差値52)

●【医療の現状】

病院数:32、人口10万人当たり15.1(偏差値71)

診療所数:209、人口10万人当たり99(偏差値59)

総医師数:722、人口10万人当たり341(偏差値54)

専門医数

小児科:19、人口10万人当たり9(偏差値45)

産婦人科:11、人口10万人当たり5.2(偏差値41)

総合内科:51、人口10万人当たり24.1(偏差値48)

看護師数:3,687、人口10万人当たり1,742(偏差値79)

●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:4,159、75歳以上1,000人当たり102(偏差値53)

(うち、介護保険施設定員:2,848、75歳以上1,000人当たり70(偏差値60)

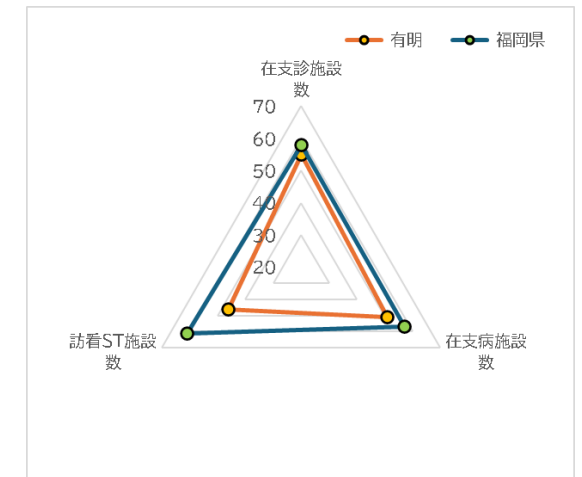
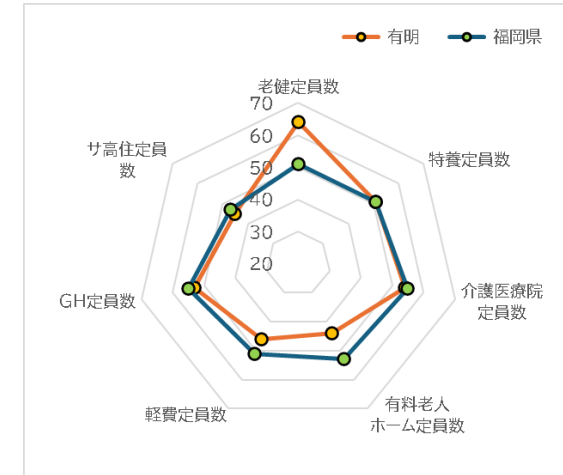
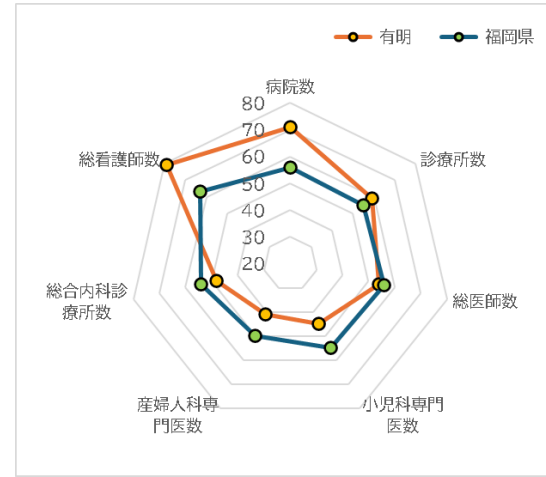
(うち、高齢者住宅定員:1,311、75歳以上1,000人当たり32(偏差値43)

介護職員数:3,376、75歳以上1,000人当たり83(偏差値59)

施設別定員数:老健施設1,158(偏差値64)、特養1,354(偏差値51)、介護医療院139(偏差値54)

(75歳以上1,000人当たり)有料7.8(偏差値44)、軽費0.5(偏差値46)、GH12.9(偏差値53)、サ高住11(偏差値45)

在宅ケア(施設数):在支診42(偏差値55)、在支病4(偏差値51)、訪看ST27(偏差値46)



12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086	
久留米	49 → 47	449 → 431	106 → 81	51 → 115	
八女・筑後	14 → 14	122 → 121	39 → 27	12 → 28	
有明	33 → 31	214 → 200	52 → 39	25 → 39	

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

●市別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
大牟田市	24 →	23	121 →	110
柳川市	7 →	6	62 →	59
みやま市	2 →	2	31 →	31
有明	33 →	31	214 →	200

●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数			小児人口10万人対 医療機関数
	病院	診療所		
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9
久留米	35 → 33	8 → 7	27 → 26	57.1 → 57.6
八女・筑後	9 → 9	3 → 3	6 → 6	51.1 → 53.7
有明	25 → 22	12 → 9	13 → 13	98.4 → 92.4

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
久留米	3 → 3	14 → 11
八女・筑後	2 → 1	3 → 3
有明	1 → 1	5 → 4

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、有明区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体、全国よりも多いという状況である

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 （施設）	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 （訪問）	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、有明区域は、県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は8.9人と県全体、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は2.7人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、有明区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は83.0人と県全体、全国よりも多い状況となっている

在宅については、12.5人と県全体よりも少なく、全国と概ね同程度となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、有明区域は、県平均よりもかなり多い状況となっており、県内で最も多くなっている

・有明区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、有明区域は、県平均よりもかなり多い状況となっている

・有明区域について、就業場所別に見ると、病院と診療所が概ね同数で、次いで介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

14. 在宅医療の状況

「福岡県在宅療養支援診療所等調査」(高齢者地域包括ケア推進課)

【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

【調査時期】

毎年5月～7月頃

【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・有明区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が17件、「現状維持」が41件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が2件という結果で、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数は1件減少しているものの、訪問診療患者数は増加している

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

- ・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、有明区域では、他の区域と比べて「70歳以上」の割合が29.8%と極めて高く、次いで「60~69歳」の27.4%となっており、60歳以上の年齢層が57.2%と半数以上を占めている
- ・今後、老年人口が増えていき、ますます在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、現在の年齢構成を考えた際、10年後、20年後に在宅医療体制を維持することができるのか、検討する必要があるのではないか

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

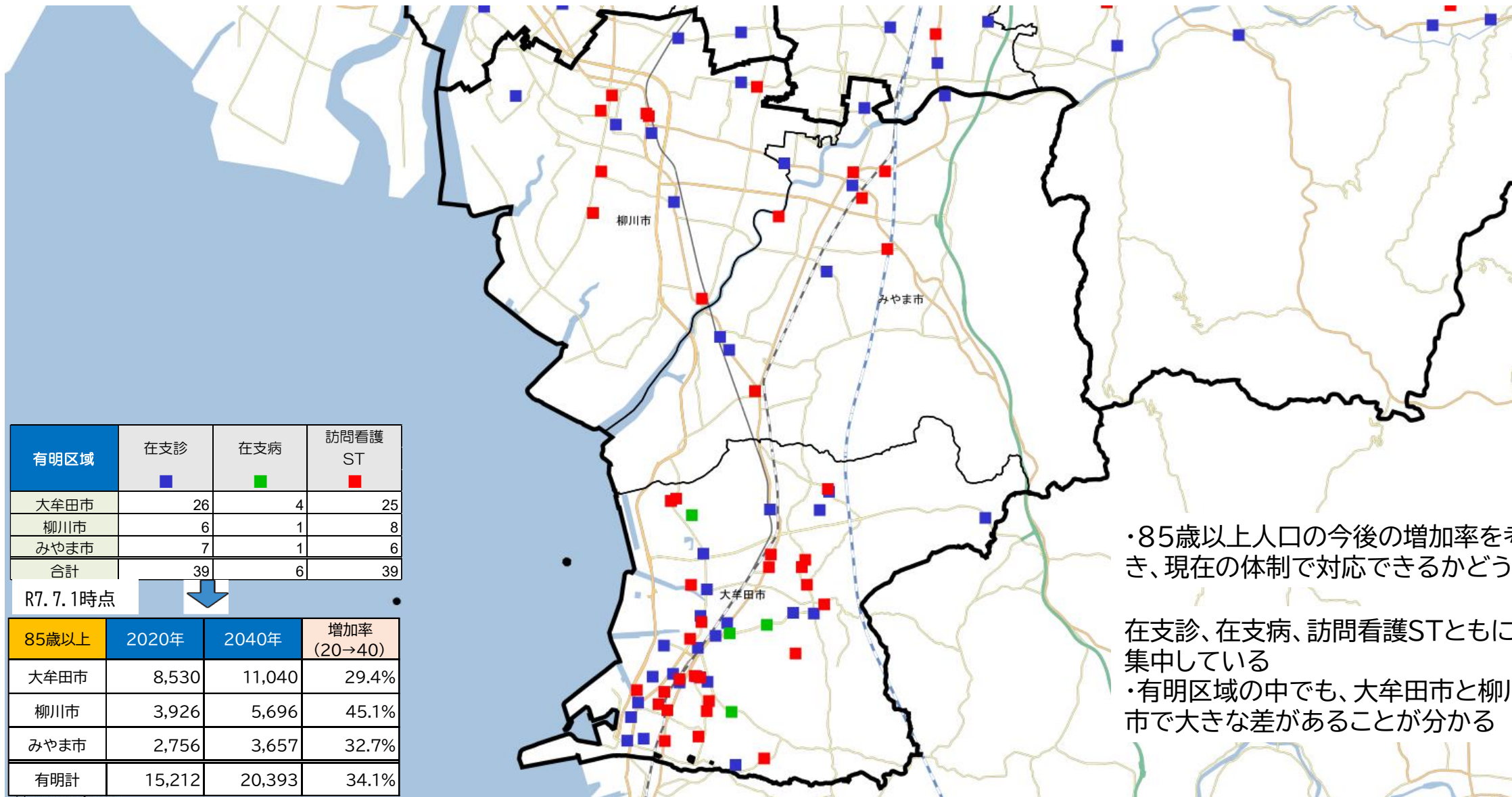
●在宅医療機関数(市別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
大牟田市	44	1,115	1	252	45	1,138	5	197	1	23	4	-55	10	25	2
柳川市	17	260	0	35	15	322	0	32	-2	62	0	-3	4	8	0
みやま市	12	220	0	35	12	201	0	51	0	-19	0	16	3	8	0
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+非常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
大牟田市	82	59	6.7	65.7	0	(0.0%)	6	(7.3%)	19	(23.2%)	13	(15.9%)	21	(25.6%)	23	(28.0%)
柳川市	18	15	0.7	15.7	0	(0.0%)	2	(11.1%)	2	(11.1%)	1	(5.6%)	8	(44.4%)	5	(27.8%)
みやま市	24	21	1.7	22.7	1	(4.2%)	2	(8.3%)	2	(8.3%)	5	(20.8%)	5	(20.8%)	9	(37.5%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)

14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



有明区域	在支診	在支病	訪問看護ST
大牟田市	26	4	25
柳川市	6	1	8
みやま市	7	1	6
合計	39	6	39

R7.7.1時点

85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
大牟田市	8,530	11,040	29.4%
柳川市	3,926	5,696	45.1%
みやま市	2,756	3,657	32.7%
有明計	15,212	20,393	34.1%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診、在支病、訪問看護STともに大牟田市に集中している
 ・有明区域の中でも、大牟田市と柳川市、みやま市で大きな差があることが分かる

15. 看護職員の状況

「看護職員確保に係る実態調査」(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

【調査時期】

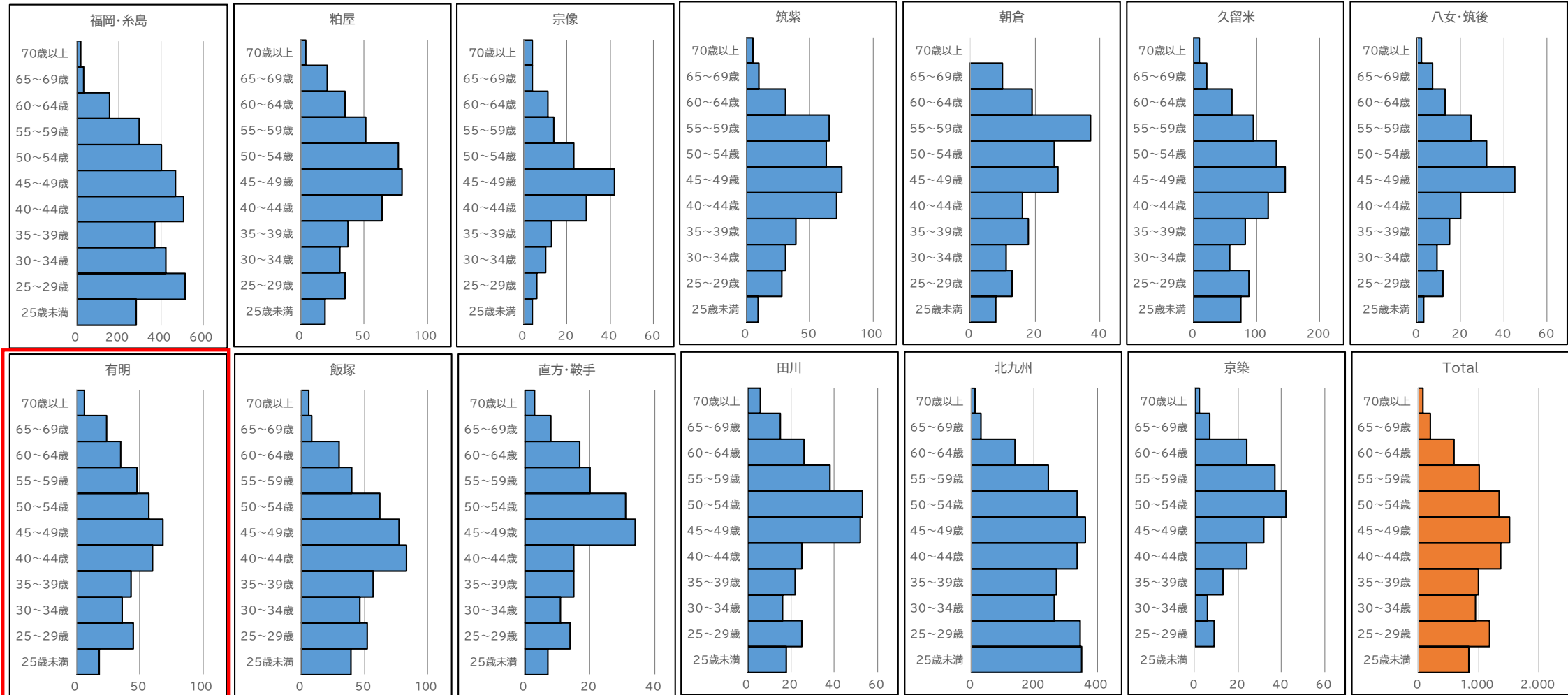
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

●二次医療圏・年齢階級別看護師数



・有明区域の年齢構成ピラミッドを見ると、40代～50代前半の年代層が多い状況になっており、他の区域と比べると、比較的年代の偏りは少ない状況が見られる

16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

有明区域は、H28年からR5年の7年間で人口が18,330人減少(9.1%減)している

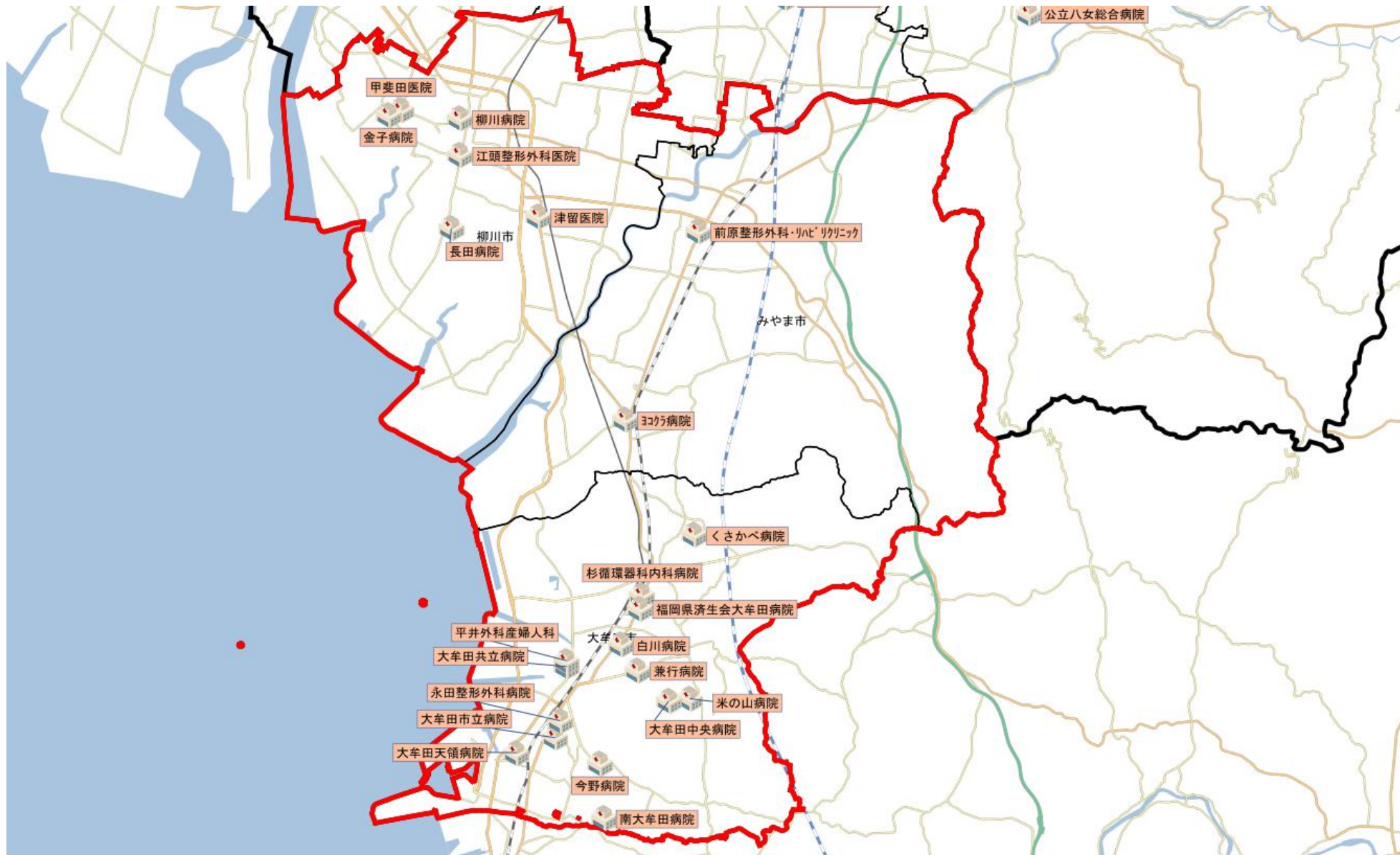
この7年間で推計流入患者割合は1.6ポイント減少、推計流出患者割合も2.9ポイント減少しており、流入患者の割合と流出患者の割合に大きな変化はない

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)

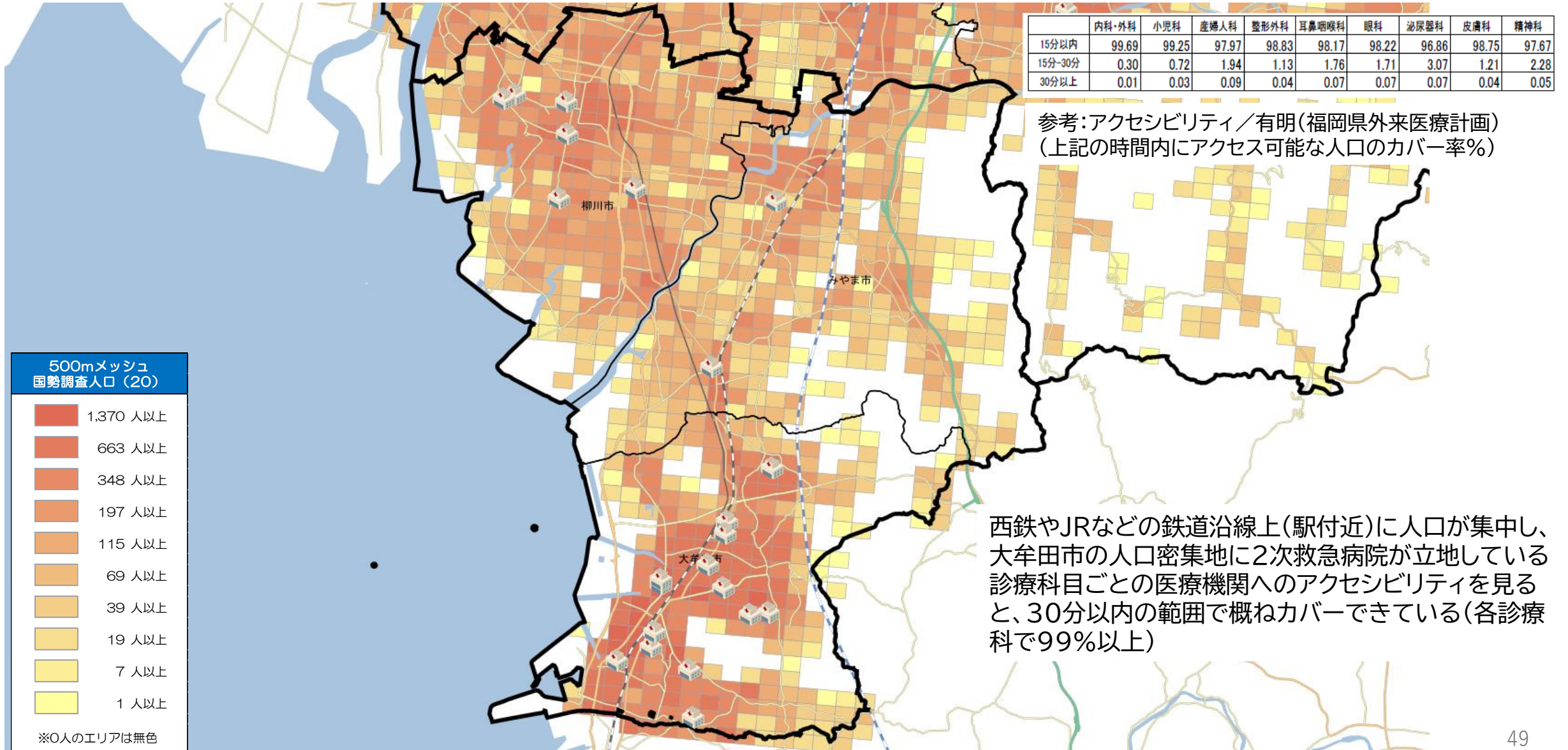


・有明医療圏は、久留米医療圏、八女・筑後医療圏と接している

・医療の状況を見ると、有明医療圏内には、22の二次救急があり、急患センターは設置されていない

・隣接する久留米医療圏には、22の二次救急が、八女・筑後医療圏には、10の二次救急があり、いずれも急患センターは設置されていないが、久留米医療圏に久留米大学病院高度救命救急センター、聖マリア病院救命救急センターがある

18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
大牟田市消防本部	5,670	10 (0.2%)	128 (2.3%)	128 (2.3%)	1,245 (22.0%)	4,159 (73.4%)	5,262 (92.8%)	400 (7.1%)	8 (0.1%)
柳川市消防本部	3,050	1 (0.0%)	99 (3.2%)	73 (2.4%)	664 (21.8%)	2,213 (72.6%)	2,739 (89.8%)	311 (10.2%)	0 (0.0%)
みやま市消防本部	1,805	1 (0.1%)	45 (2.5%)	58 (3.2%)	380 (21.1%)	1,321 (73.2%)	1,581 (87.6%)	219 (12.1%)	5 (0.3%)
有明区域計	10,525	12 (0.1%)	272 (2.6%)	259 (2.5%)	2,289 (21.7%)	7,693 (73.1%)	9,582 (91.0%)	930 (8.8%)	13 (0.1%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
大牟田市消防本部	132 (2.3%)	0 (0.0%)	589 (10.4%)	3,388 (59.8%)	1,561 (27.5%)	0 (0.0%)	866 (55.5%)
柳川市消防本部	67 (2.2%)	0 (0.0%)	362 (11.9%)	1,722 (56.5%)	899 (29.5%)	0 (0.0%)	510 (56.7%)
みやま市消防本部	50 (2.8%)	0 (0.0%)	253 (14.0%)	803 (44.5%)	698 (38.7%)	1 (0.1%)	400 (57.3%)
有明区域計	249 (2.4%)	0 (0.0%)	1,204 (11.4%)	5,913 (56.2%)	3,158 (30.0%)	1 (0.0%)	1,776 (56.2%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、有明区域、県ともに高齢者の割合が高く、有明区域での高齢者の割合は県を10ポイントほど上回っている
→ 有明73.1%、県62.4%
- ・症状別では、有明区域は、県に比べて軽症より重症の割合が高い
→「重症」有明11.4%、県5.2%
- ・「軽傷に占める高齢者の割合」は、有明区域が県より高い
→有明56.2%、県47.7%

19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
大牟田市消防本部	5,670	4,159	2,519 (60.6%)	1,343 (32.3%)	437 (10.5%)	133 (3.2%)	600 (14.4%)	20 (0.5%)	255 (6.1%)	22 (0.5%)
柳川市消防本部	3,050	2,213	1,355 (61.2%)	735 (33.2%)	187 (8.5%)	76 (3.4%)	401 (18.1%)	17 (0.8%)	94 (4.2%)	12 (0.5%)
みやま市消防本部	1,805	1,321	843 (63.8%)	342 (25.9%)	97 (7.3%)	18 (1.4%)	181 (13.7%)	11 (0.8%)	93 (7.0%)	32 (2.4%)
有明区域計	10,525	7,693	4,717 (61.3%)	2,420 (31.5%)	721 (9.4%)	227 (3.0%)	1,182 (15.4%)	48 (0.6%)	442 (5.7%)	66 (0.9%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、有明区域ともに、「住宅」が最も割合が高い
→有明61.3%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数					搬送先	
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	うち高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)
大牟田市消防本部	5,670	37.05	5,010 (88.4%)	488 (8.6%)	112 (2.0%)	60 (1.1%)	47 (78.3%)	5,330 (94.0%)	340 (6.0%)
柳川市消防本部	3,050	37.87	2,412 (79.1%)	395 (13.0%)	130 (4.3%)	113 (3.7%)	87 (77.0%)	1,439 (47.2%)	1,611 (52.8%)
みやま市消防本部	1,805	37.32	1,641 (90.9%)	106 (5.9%)	36 (2.0%)	22 (1.2%)	12 (54.5%)	969 (53.7%)	836 (46.3%)
有明区域計	10,525	37.33	9,063 (86.1%)	989 (9.4%)	278 (2.6%)	195 (1.9%)	146 (74.9%)	7,738 (73.5%)	2,787 (26.5%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

【有明区域各消防本部の主な搬送先】

(大牟田市消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占 める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 地方独立行政法人 大牟田市立病院	大牟田市	1,525	26.9%	22.0%	63.3%	12.4%
2位 社会保険大牟田天領病院	大牟田市	1,195	21.1%	41.8%	49.0%	7.2%
3位 医療法人親仁会 米の山病院	大牟田市	1,044	18.4%	21.9%	67.7%	8.2%
4位 福岡県済生会大牟田病院	大牟田市	482	8.5%	29.5%	56.0%	12.4%
5位 シーエムエス 杉循環器科内科病院	大牟田市	333	5.9%	29.4%	50.8%	8.7%
1位～5位の合計		4,579	80.8%	28.5%	58.9%	9.8%
総計		5,670	100.0%	27.5%	59.8%	10.4%

(柳川市消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占 める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 医療法人 社団高邦会 高木病院	大川市	853	28.0%	24.3%	65.8%	9.3%
2位 医療・介護・教育研究財団 柳川病院	柳川市	772	25.3%	25.6%	55.8%	15.0%
3位 医療法人清和会 長田病院	柳川市	534	17.5%	38.2%	48.9%	7.5%
4位 聖マリア病院	久留米市	199	6.5%	34.7%	37.2%	27.6%
5位 医療法人 弘恵会 ヨコクラ病院	みやま市	192	6.3%	33.3%	54.7%	9.9%
1位～5位の合計		2,550	83.6%	29.1%	56.2%	12.1%
総計		3,050	100.0%	29.5%	56.5%	11.9%

(みやま市消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占 める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 医療法人 弘恵会 ヨコクラ病院	みやま市	967	53.6%	43.6%	40.4%	12.1%
2位 筑後市立病院	筑後市	186	10.3%	40.9%	43.5%	11.3%
3位 聖マリア病院	久留米市	147	8.1%	38.1%	29.9%	30.6%
4位 公立八女総合病院	八女市	136	7.5%	32.4%	58.1%	9.6%
5位 地方独立行政法人 大牟田市立病院	大牟田市	110	6.1%	20.9%	60.9%	17.3%
1位～5位の合計		1,546	85.7%	40.2%	42.8%	13.9%
総計		1,805	100.0%	38.7%	44.5%	14.0%

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分で、大牟田市消防本部37.1分、柳川市消防本部が37.9分、みやま市消防本部が37.3分である

※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、有明区域が86.1%で、1回までに決まる割合は、大牟田市消防本部で88.4%と高くなっている
ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも有明区域で高い

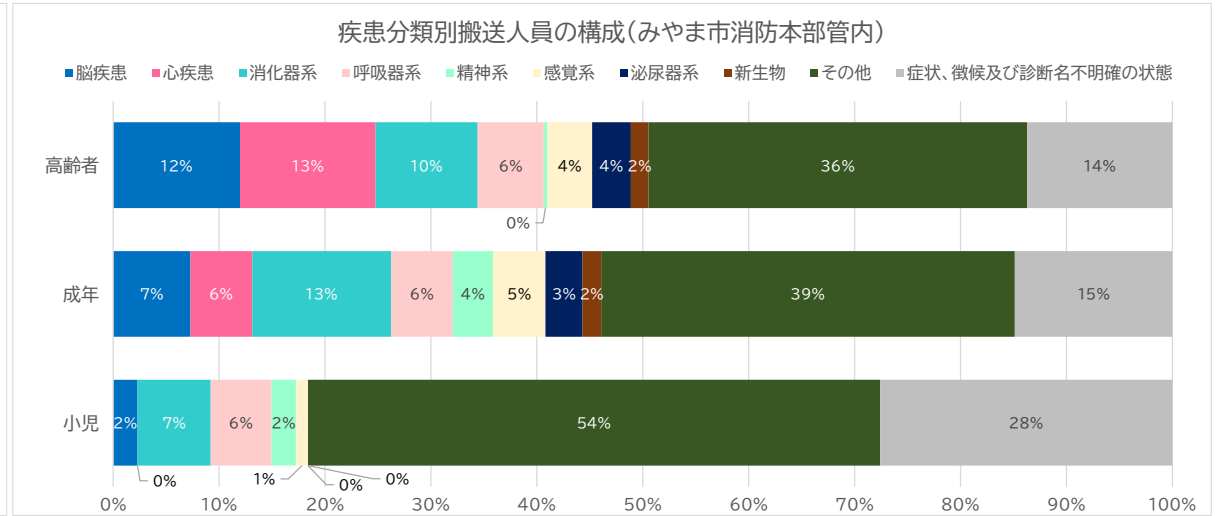
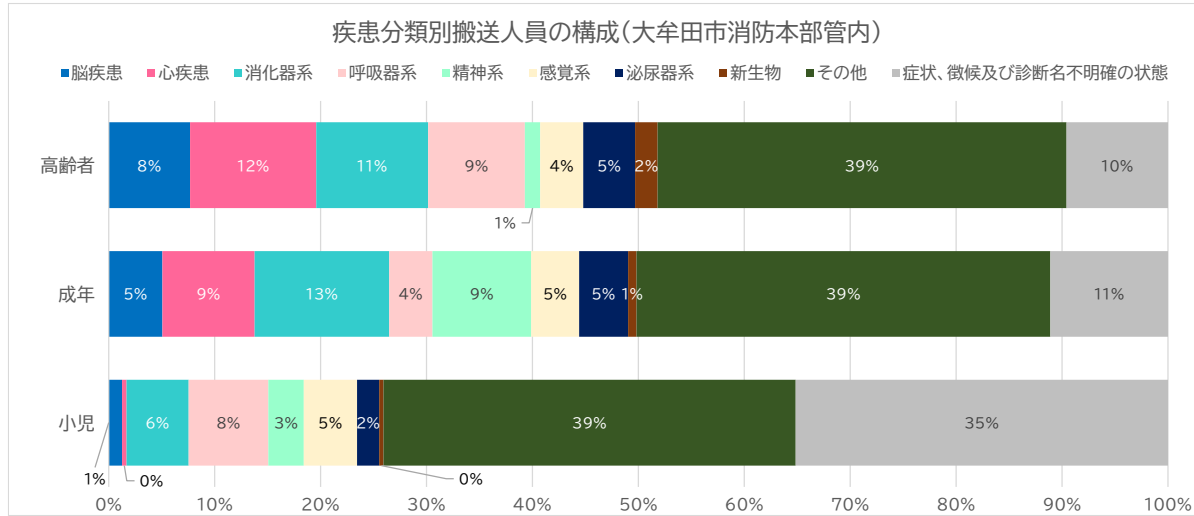
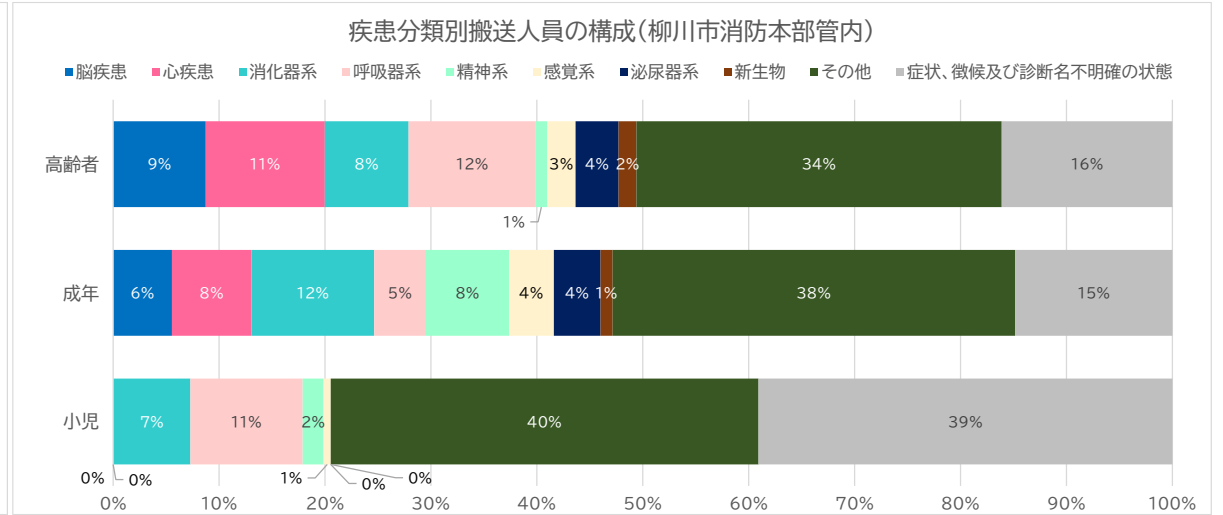
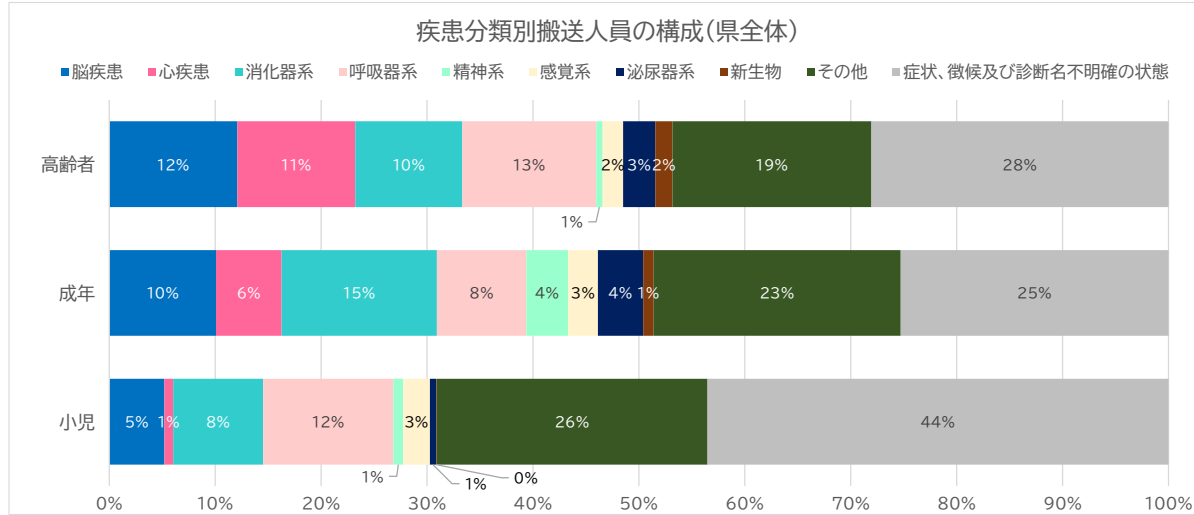
・有明区域各消防本部の主な搬送先を見ると、大牟田市消防本部は、域内の「大牟田市立病院」、「大牟田天領病院」「米の山病院」に6割以上が搬送されている

柳川市消防本部は、域外の「高木病院」(大川市)が最も多く、次いで域内の「柳川病院」「長田病院」に4割超が搬送されている

みやま市消防本部は域内の「ヨコクラ病院」への搬送が5割を超えている

19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 疾患分類別搬送人員の構成



19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る有明区域内の各消防本部の搬送状況

* 搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

大牟田市消防本部

救急患者:266人(うち 搬送先 管内240人(90.2%)、管外26人(9.8%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 地方独立行政法人 大牟田市立病院	150人	62.5%
2位 医療法人恒生堂 永田整形外科病院	20人	8.3%
3位 社会保険大牟田天領病院	18人	7.5%
管内総計	240人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 聖マリア病院	久留米市	13人	50.0%
-	-	-	-
-	-	-	-
管外総計		26人	100.0%

柳川市消防本部

救急患者:173人(うち 搬送先 管内44人(25.4%)、管外129人(74.6%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 医療・介護・教育研究財団 柳川病院	16人	36.4%
2位 医療法人 柳川滋恵会 甲斐田医院	10人	22.7%
管内総計	44人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 聖マリア病院	久留米市	59人	45.7%
2位 医療法人社団高邦会 高木病院	大川市	48人	37.2%
管外総計		129人	100.0%

みやま市消防本部

救急患者:104人(うち 搬送先 管内30人(28.8%)、管外74人(71.2%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 医療法人弘恵会 ヨコクラ病院	29人	96.7%
-	-	-
管内総計	30人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 聖マリア病院	久留米市	46人	62.2%
2位 地方独立行政法人 大牟田市立病院	大牟田市	17人	23.0%
管外総計		74人	100.0%

● 小児に係る有明区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名	搬送患者数	搬送先					
		1位		2位		3位	
1位 地方独立行政法人 大牟田市立病院	175人	大牟田市消防本部	85.7%	みやま市消防本部	9.7%	柳川市消防本部	2.3%
2位 医療法人弘恵会 ヨコクラ病院	36人	みやま市消防本部	80.6%	柳川市消防本部	19.4%	-	-
3位 医療法人恒生堂 永田整形外科病院	20人	大牟田市消防本部	100.0%	-	-	-	-

【参考】大牟田市消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	234人 (88.0%)
2回	23人 (8.6%)
3回	6人 (2.3%)
4回以上	3人 (1.1%)

収容平均所要時間 38.22分

【参考】柳川市消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	138人 (79.8%)
2回	27人 (15.6%)
3回	5人 (2.9%)
4回以上	3人 (1.7%)

収容平均所要時間 42.34分

【参考】みやま市消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	92人 (88.5%)
2回	7人 (6.7%)
3回	2人 (1.9%)
4回以上	3人 (2.9%)

収容平均所要時間 43.45分

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

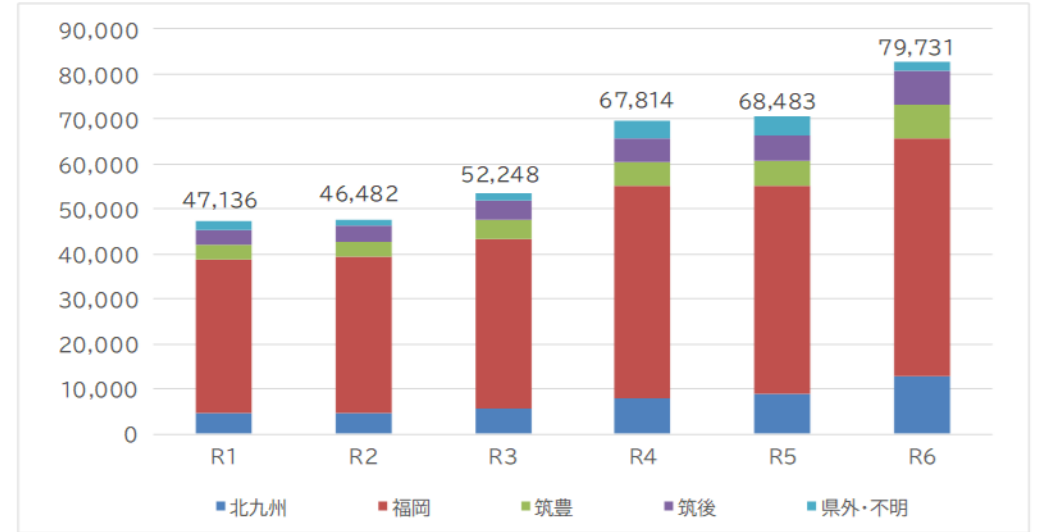
収容平均所要時間 37.55分

20. 救急医療電話相談利用件数

●福岡県救急電話相談事業（#7119）市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

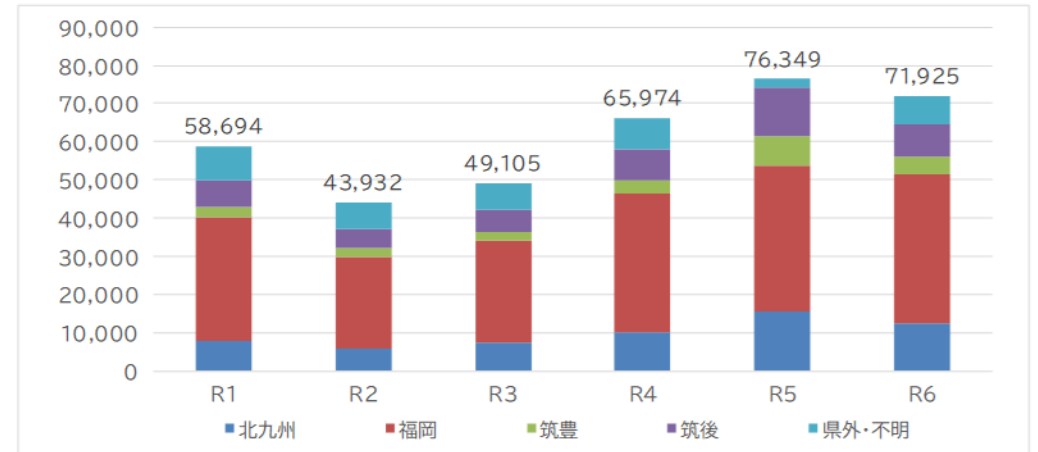
福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった
 筑後地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1,856件増加し、過去最多の7,526件となった



●福岡県小児救急医療電話相談（#8000）件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である
 筑後地域の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の1万2,649件で、R6年度は8,656件となった



*地域別の件数は相談者居住地による相談件数

21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 大牟田市立病院 (77.7%)、米の山病院 (14.6%)、社会保険大牟田天領病院 (7.7%)
眼科系 (02)	: 大牟田市立病院 (63.3%)、米の山病院 (36.7%)
耳鼻科系 (03)	: 大牟田市立病院 (100.0%)
呼吸器系 (04)	: (独)国立病院機構大牟田病院 (41.9%)、社会保険大牟田天領病院 (36.5%)、米の山病院 (10.8%)
循環器系 (05)	: 大牟田市立病院 (32.5%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (25.9%)、杉循環器科内科病院 (18.6%)
消化器系 (06)	: 大牟田市立病院 (43.8%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (17.5%)、福岡県済生会大牟田病院 (13.0%)
筋骨格系 (07)	: (医)恒生堂永田整形外科病院 (56.3%)、大牟田市立病院 (14.4%)、社会保険大牟田天領病院 (11.5%)
皮膚系 (08)	: (一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (58.7%)、大牟田市立病院 (41.3%)
乳房系 (09)	: (一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (47.4%)、大牟田市立病院 (28.4%)、福岡県済生会大牟田病院 (24.2%)
内分泌系 (10)	: 大牟田市立病院 (100.0%)
腎尿路系 (11)	: 大牟田市立病院 (68.6%)、福岡県済生会大牟田病院 (23.4%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (5.4%)
女性系 (12)	: 大牟田市立病院 (69.1%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (30.9%)
血液系 (13)	: 大牟田市立病院 (100.0%)
新生児系 (14)	: 大牟田市立病院 (100.0%)
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: (医)恒生堂永田整形外科病院 (38.2%)、大牟田市立病院 (22.7%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (13.3%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 大牟田市立病院 (53.5%)、社会保険大牟田天領病院 (23.3%)、(医)恒生堂永田整形外科病院 (23.3%)

21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 大牟田市立病院 (43.1%)、米の山病院 (12.5%)、社会保険大牟田天領病院 (12.3%)
眼科系 (02)	: —
耳鼻科系 (03)	: 大牟田市立病院 (33.9%)、社会保険大牟田天領病院 (18.9%)、長田病院 (12.7%)
呼吸器系 (04)	: 社会保険大牟田天領病院 (28.8%)、(独)国立病院機構大牟田病院 (20.3%)、長田病院 (13.0%)
循環器系 (05)	: 大牟田市立病院 (19.3%)、杉循環器科内科病院 (18.4%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (16.8%)
消化器系 (06)	: 大牟田市立病院 (48.3%)、社会保険大牟田天領病院 (11.5%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (11.4%)
筋骨格系 (07)	: (医) 恒生堂永田整形外科病院 (43.2%)、大牟田市立病院 (11.5%)、社会保険大牟田天領病院 (10.9%)
皮膚系 (08)	: 大牟田市立病院 (27.7%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (16.8%)、米の山病院 (13.5%)
乳房系 (09)	: (一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (57.3%)、福岡県済生会大牟田病院 (31.1%)、社会保険大牟田天領病院 (11.7%)
内分泌系 (10)	: 大牟田市立病院 (33.1%)、福岡県済生会大牟田病院 (20.4%)、米の山病院 (15.8%)
腎尿路系 (11)	: 大牟田市立病院 (44.2%)、福岡県済生会大牟田病院 (11.6%)、米の山病院 (10.6%)
女性系 (12)	: 大牟田市立病院 (100.0%)
血液系 (13)	: 大牟田市立病院 (37.3%)、米の山病院 (16.1%)、ヨコクラ病院 (12.4%)
新生児系 (14)	: 大牟田市立病院 (100.0%)
小児系 (15)	: 大牟田市立病院 (100.0%)
外傷系 (16)	: (医) 恒生堂永田整形外科病院 (28.5%)、大牟田市立病院 (15.8%)、(一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (15.3%)
精神系 (17)	: (一財)医療・介護・教育研究財団柳川病院 (43.6%)、米の山病院 (30.8%)、社会保険大牟田天領病院 (25.6%)
その他 (18)	: 大牟田市立病院 (57.3%)、米の山病院 (26.2%)、社会保険大牟田天領病院 (12.3%)